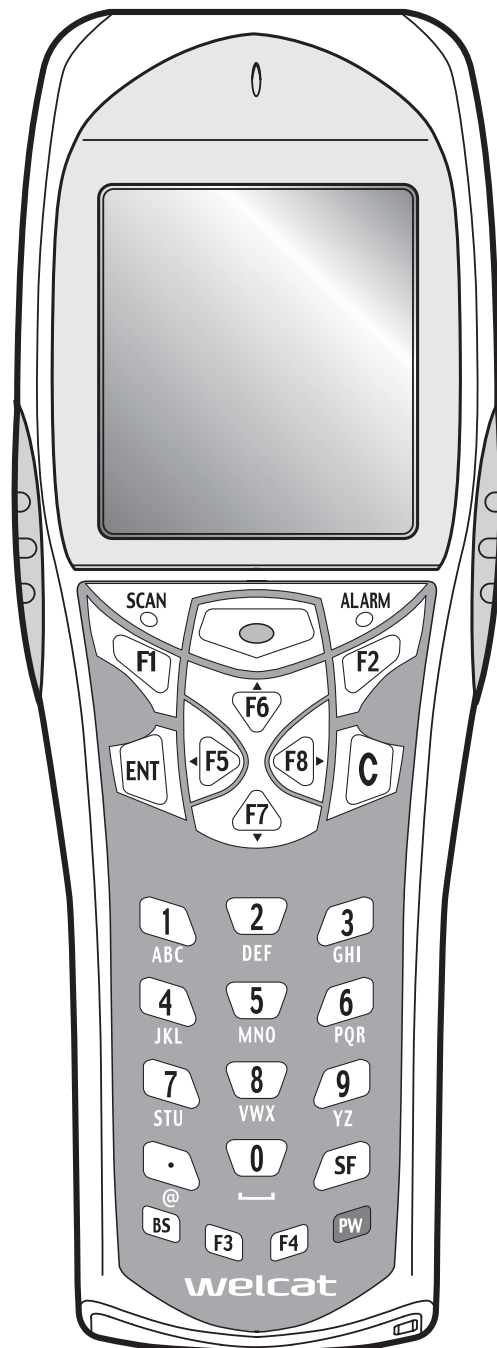


XIT150BR

ユーザーズマニュアル

welcat
Over the Wave

ワイヤレスICタグハンディリーダーライタ XIT-150-BR ハードウェア/システムメニュー



RoHS
RoHS指令対応

- Microsoft、Windows、Visual Basic は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- my-d は、Infineon Technologies 社の商標または登録商標です。
- I•CODE は、NXP Semiconductors 社の商標または登録商標です。
- Tag-it は、Texas Instruments 社の商標または登録商標です。
- FERVIDfamily は、富士通株式会社の商標または登録商標です。
- Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ウェルキャットはライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品には、キヤノンアイテック株式会社によって開発されたプログラム「UBQ-WLAN」が搭載されています。「UBQ-WLAN」はキヤノンアイテック株式会社の商標です。
- 本製品には、MPEG Layer-3 オーディオのデコーダが搭載されています。MP3 のデコード技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品には、株式会社リコーによって開発されたビットマップフォントが搭載されています。
- 各マニュアル、素材集に含まれる画像や音声およびツールの著作権は株式会社ウェルキャットにあります。
- 各マニュアル、素材集に含まれる画像や音声およびツールの一部または全てを無断で使用、複製することはできません。
- その他記載されている製品名および会社名は、それぞれの企業の登録商標または商標です。

弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用前にこのユーザーズマニュアルをよくお読みになり、内容を理解頂いた上でお使い頂きますようお願い申し上げます。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明します。



この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い」内容です。



この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

以下の絵表示は、お守り頂く内容区分を説明しています。



このような絵表示はしてはいけない「禁止」であることを示します。図の中に具体的な禁止の内容が示されています。



このような絵表示は必ずして頂く「強制」であることを示します。図の中に具体的な指示の内容が示されています。



このような絵表示は注意を促す内容であることを示します。図の中に具体的な注意の内容が示されています。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためにも、次の事柄は必ずお守りください。



製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している危険、警告、注意の表示を厳守してください。

XIT-150-BR

HBC-51



必ず専用の周辺機器をご使用ください。

XIT-150-BR 専用周辺機器：

- ・ バッテリーカートリッジ (HBC-51)
- ・ シングルチャージャ (QC-001) 別売
- ・ マルチチャージャ (QC-002) 別売



高温になる場所 (火やストーブのそば、炎天下など) や引火性ガスの発生する場所での使用、放置、充電はしないでください。



漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

電子レンジや高圧容器などの中に入れてしないでください。



漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

火の中に投入したり、加熱しないでください。



漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

レーザーを人に向けしないでください。



レーザー光が目に入ると視力に障害をきたす恐れがあります (『レーザー安全基準について』 (P.ix) 参照)。

バッテリーカートリッジの端子や、本体の電池端子/充電端子をショートさせたり、ハンダ付けしないでください。



漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

バッテリーカートリッジの (+) と (-) の向きを逆にして使用、充電しないでください。



漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。



落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。



発熱・発煙・異臭などが発生したときは、電源を切りバッテリーカートリッジを外してください。

そのまま使用すると、発熱、発火の原因となります。バッテリーカートリッジではさらに漏液、破裂の原因ともなります。



分解、改造をしないでください。

けがや感電、火災などの事故または故障の原因となります。内部の点検、調整はお買い上げの販売店にお任せください。

万一、改造などにより生じた問題については、一切の責任を負いかねます。



バッテリーカートリッジの端子や、本体の電池端子/充電端子、外付けアンテナ接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。

感電、傷害、故障、誤作動の原因となる場合があります。



薬品に近づけないでください。

薬品が触れる場所や薬品のそばで使用、保管しないでください。感電、火災などの事故または故障の原因となります。



高温となる場所、湿気・ほこりの多い場所で使用・保管しないでください。



火のそば、直射日光が当たるところなど高温になる場所での使用や保管は避けてください。火災などの事故またはケースの変形や故障の原因となります。また湿気、ほこりの多いところでの使用や保管は避けてください。感電、火災などの事故または故障の原因となります。



不安定なところに置かないでください。

機器が落ちたり倒れたりして、けがや機器の故障の原因となります。



乳幼児の手の届くところに置かないでください。

けがなどの原因となります。



本製品は、その故障が直接生命を脅かしたり人体に影響のある装置（原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器制御など。以下『ハイセイフティ用途』）に使用するために開発、意図、許可されているものではありません。

弊社は、本製品を当該ハイセイフティ用途に使用したことにより発生したいかなる損害に対しても、一切の責任を負いかねます。



持ち運びのときには、ストラップがひっかからないようにしてください。



ストラップの取扱いには充分注意してください。ストラップが他の物にひっかかると、けがや事故の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しないでください。



電子機器（医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など）が誤動作するなどの影響を与えることがあります。
（『電波に関する注意』（P.x）参照）

異物を本体の内部に入れないでください。



もし本体の内部に異物や液体が入った場合は使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電、火災などの事故または故障の原因となります。



コンピュータや蛍光灯、電子レンジなどのノイズを発する機器からはなるべく離して使用してください。



ノイズの影響により正常に通信できなくなる場合があります。

必ず手に取って操作してください。



床や机に置いたまま、あるいはチャージャに置いたままの状態ですると機器の故障や誤作動の原因となります。

強い衝撃を与えないでください。



本体を落とす、投げる、叩くなどしないでください。故障の原因となります。

水中に入れたり、強い勢いで水をかけたりしないでください。



本体は水没、噴射水に対し保護されません。内部に水が入り感電、火災などの事故または故障の原因となります。

磁石、スピーカー、ブラウン管の近くなど、強い磁界の発生する恐れがあるところで使用、保管しないでください。



本体の誤動作や故障の原因となります。

HBC -51

使用済みバッテリーカートリッジ (HBC-51) について



Li-ion

XIT-150-BR にはリチウムイオン二次電池 (バッテリーカートリッジ : HBC-51) が使用されています。リチウムイオン二次電池は、「資源有効利用促進法」により、電池メーカー及び電池を使用する機器メーカーに回収・リサイクルが義務付けられた小型二次電池です。弊社では有限責任中間法人 JBRC の会員として、使用済み小型二次電池の回収・リサイクルを実施しております。寿命となったバッテリーカートリッジは一般のゴミと一緒に捨てず、回収に関しては弊社までお問い合わせください。



バッテリーカートリッジが漏液して液が皮膚、衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

放置すると、失明やその他傷害を起こす原因となります。



バッテリーカートリッジを火の中に投入したり、加熱しないでください。

漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。



バッテリーカートリッジを水や海水などにつけたり、濡らさないでください。

漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。



釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。



バッテリーカートリッジが漏液、変形・変色したときには使用しないでください。

そのまま使用すると、バッテリーカートリッジの発熱、破裂、発火、または漏液の原因となります。また火気に近づけると漏液した電解液に引火する恐れがあります。

注意

本製品は、13.56MHz の電波を使用した通信設備です。そのため使用する用途・場所によっては、他の無線を使用する機器との混信が発生することがあります。この混信による影響を少なくするために、導入に際しては相互に事前確認されることをお願いします。

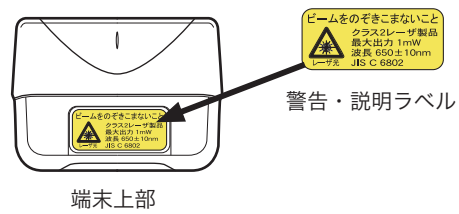
また、電波天文や医療機器等に影響を与えるおそれもあり、このような環境での使用については特に注意してください。なお、本製品の使用においては、長時間にわたる電波の人体ばく露についても注意してください。

注意

1. 本機は電波法に基づいて、誘導式読み書き通信設備（高周波利用設備）として型式指定を受けています。
2. 本機を分解・改造したり、本機の内部に触れることは電波法で禁止されており、法律で罰せられます。故障の際の内部の点検、調整はお買い上げの販売店にお任せください。

1mW
650±10nm

2



注意

ユーザーズマニュアルに反した使用や、製品の分解はしないでください。危険なレーザー放射の被ばくを招くことがあります。

LCD

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、ご使用の前に「正しく安全にお使い頂くために」(P.ii)を必ずお読みください。

- ・ 心臓ペースメーカー等装着者や医療機器をご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・ 電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。
電子レンジからもれる電波によって本製品の無線通信に妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社営業にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社営業へお問い合わせください。

注意

製品銘板に記載されている **2.4DS/OF4** は次の内容を表わしています。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	DS-SS 方式、OFDM 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

製品銘板に記載されている **2.4FH1** は次の内容を表わしています。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	FH-SS 方式
想定干渉距離	10m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可。

注意

1. 本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵しています。
2. 本機を分解したり、本機の内部に触れることは電波法で禁止されており、法律で罰せられることがあります。故障の際の内部点検、調整はお買い上げの販売店にお任せください。
3. 本機は日本国内でのみ使用可能です。海外では電波規格が異なるため、使用できません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 <お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です!>

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・ ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- ・ メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・ コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

注意

本来、無線 LAN 端末や無線 LAN カード、無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品をご使用になる際にセキュリティに関する設定を行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 端末や無線 LAN カード、無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、お客様側で対処できない場合には、弊社営業までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わずに使用した場合の問題が発生することを充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行ない、製品を使用することをお奨めします。

お客様がご自身の判断と責任においてセキュリティ設定を行わずに発生したいかなるトラブル（損害）に対して、弊社はその責任を負いかねます。

参照

本製品のセキュリティ設定については以下を参照ください。

- ① SSID の設定 (P.3-22)
- ② セキュリティ設定 (P.3-24)
- ③ MAC アドレスの表示 (P.3-34)

無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレスフィルタリング機能を使用する場合に使用。

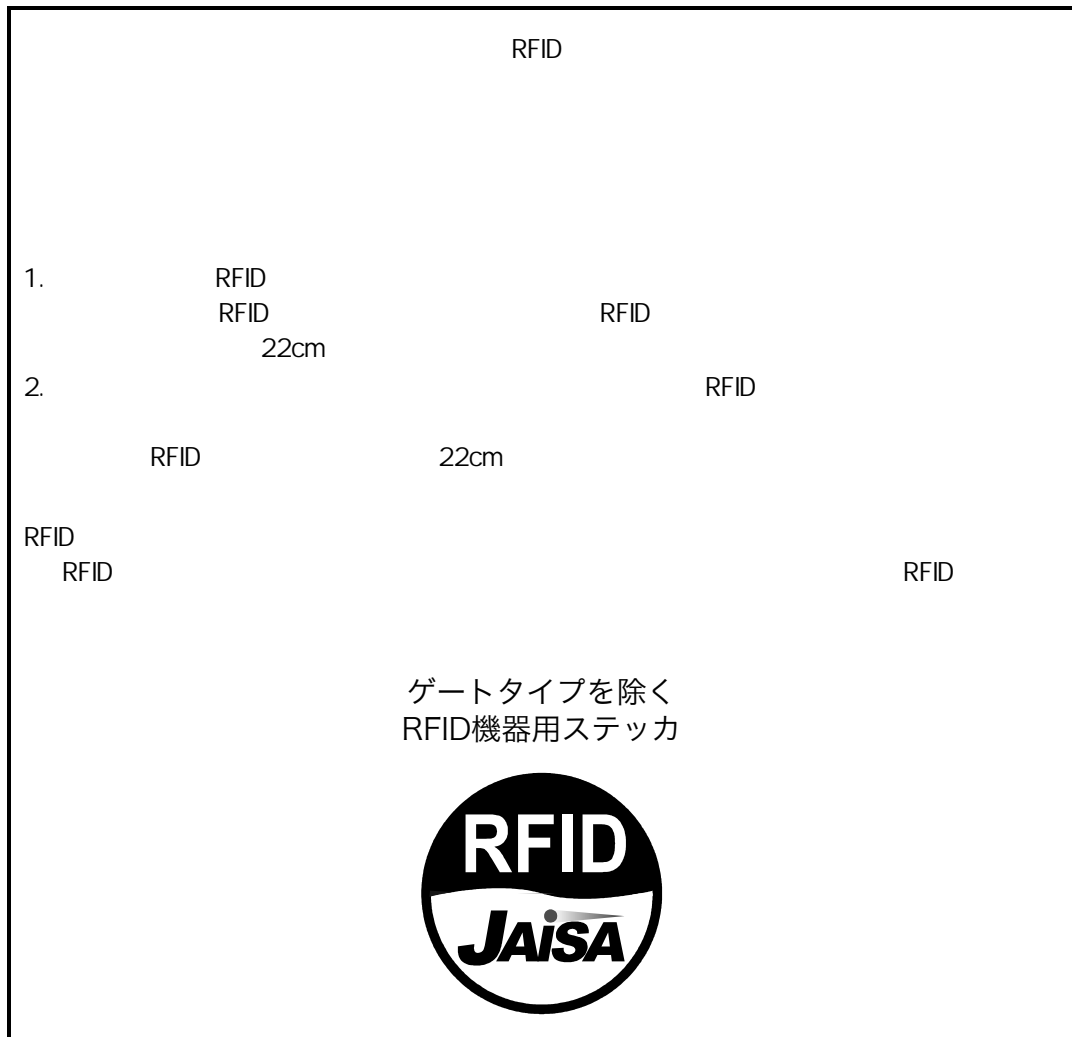
RFID

IC RF RFID

17 8

RFID

RFID



1

1

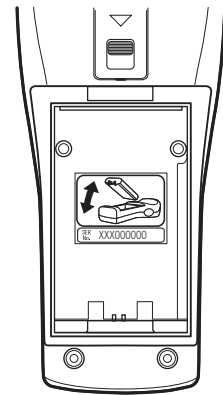
2

3

4.

FAX

<http://www.welcat.co.jp/support/regist/index.htm>





ご使用が終わりましたバッテリーカートリッジにつきましては、「使用済みバッテリーカートリッジ (HBC-51) について」 (P.vii) を参照してください。

レーザー安全基準について.....	ix
レーザーに関する警告ラベル.....	ix
LCD について.....	ix
電波に関する注意.....	x
RFID ステッカについて.....	xii
製品保証について.....	xiii
消耗品について.....	xiv
目次.....	xv
はじめに.....	xviii
同梱品.....	xviii
別売り.....	xviii
表記上の注意.....	xix
本書の構成.....	xx

第 1 章 ハードウェア編 1-1

1-1 各部の名称.....	1-2
1-2 使用前の準備.....	1-4
1-2-1 機器の接続.....	1-4
1-2-2 周辺ソフトウェアについて.....	1-5
1-3 無線通信について.....	1-6
1-3-1 データ通信の準備.....	1-7
1-3-2 データ通信の方法.....	1-8
1-4 製品仕様.....	1-10
1-5 バーコード読取り仕様.....	1-14
1-6 IC タグアクセス仕様.....	1-17
1-7 充電仕様.....	1-18
1-7-1 本体充電.....	1-18
1-7-2 シングルチャージャ (QC-001) を使った充電方法.....	1-18
1-7-3 マルチチャージャ (QC-002) を使った充電方法.....	1-19
1-8 バッテリーカートリッジ (HBC-51) について.....	1-21
1-8-1 ご使用時の充電.....	1-21
1-8-2 バッテリーカートリッジの取付け、取外し.....	1-21
1-8-3 バッテリーカートリッジの消耗と交換.....	1-22
1-8-4 電極の清掃に関する注意.....	1-22
1-8-5 バックアップ電池の充電.....	1-22
1-9 メモリバックアップ期間.....	1-23
1-10 長期保管について.....	1-25
1-11 レジューム機能について.....	1-26
1-12 画面出力キャラクタ.....	1-27

第 2 章 ソフトウェア編 2-1

2-1 ソフトウェアについて.....	2-2
2-1-1 データの格納場所.....	2-2
2-2 システムメニューについて.....	2-4

第3章 システムメニュー編	3-1
3-1 はじめに	3-2
3-2 設定値の保存	3-2
3-2-1 レジストリ	3-2
3-3 キー名称と機能	3-3
3-4 システムメニューの操作	3-5
3-5 電池残量について	3-8
3-6 システムメニューの起動	3-9
3-6-1 起動方法	3-9
3-6-2 DHCP リクエストの実行	3-9
3-6-3 起動直後の WLAN 動作状態	3-9
3-6-4 設定ウィザードの実行	3-10
3-6-5 WLAN セキュリティ未設定時の注意	3-12
3-7 システムメニュー一覧	3-13
3-8 システム設定カテゴリ	3-15
3-8-1 自動実行	3-15
3-8-2 時計	3-16
3-8-3 レジューム	3-17
3-8-4 パスワード	3-18
3-8-5 オートウェイクアップ	3-20
3-8-6 オートパワーオフ	3-21
3-9 WLAN カテゴリ	3-22
3-9-1 SSID	3-22
3-9-2 ローミングレベル	3-23
3-9-3 省電力タイムアウト	3-23
3-9-4 セキュリティ	3-24
3-9-5 詳細設定	3-32
3-9-6 MAC アドレス	3-34
3-10 ネットワークカテゴリ	3-35
3-10-1 TCP/IP	3-35
3-10-2 DHCP	3-36
3-10-3 FTP	3-38
3-10-4 DNS	3-41
3-10-5 SNMP	3-42
3-11 受信カテゴリ	3-46
3-12 ファイルカテゴリ	3-49
3-13 端末 ID カテゴリ	3-57
3-14 デバイスカテゴリ	3-58
3-14-1 バーコード	3-58
3-14-2 キー	3-63
3-14-3 Bluetooth	3-63
3-14-4 画面	3-70
3-14-5 音/バイブ	3-71
3-14-6 RFID	3-76
3-15 メンテナンスカテゴリ	3-77
3-15-1 電池残量	3-77
3-15-2 システムバージョン	3-78
3-15-3 初期化	3-78
3-15-4 クローン	3-80

3-15-5	ドライブ.....	3-83
3-15-6	長期保管.....	3-84
3-15-7	ウィザード.....	3-85
3-16	テストカテゴリ.....	3-86
3-16-1	WLAN.....	3-86
3-16-2	Bluetooth.....	3-90
3-16-3	バーコード.....	3-91
3-16-4	画面.....	3-93
3-16-5	キー.....	3-94
3-16-6	RFID.....	3-95
<hr/>		
第 4 章	外付けアンテナユニット (AU-002 編)	4-1
4-1	AU-002 の取付け方法.....	4-2
4-1-1	取扱い上の注意.....	4-3
4-1-2	使用上の注意.....	4-3
<hr/>		
第 5 章	FAQ (よくある質問と回答)	5-1
5-1	FAQ.....	5-2
	Q: 電源が入らない.....	5-2
	Q: 画面に何も表示されない.....	5-2
	Q: しばらく操作を中断したら、電源が OFF になってしまった.....	5-2
	Q: 充電できない.....	5-2
	Q: システムメニューが起動しない.....	5-3
	Q: 電源を ON にしたときに起動するアプリケーションを変更したい.....	5-3
	Q: 別のアプリケーションを起動するには.....	5-3
	Q: バーコードが上手く読取れない.....	5-3
	Q: ドライブの空き容量を確認するには.....	5-3
	Q: 無線でデータ通信ができない.....	5-4
	Q: Bluetooth 通信ができない.....	5-4
	Q: WLAN と Bluetooth の同一環境、同一端末での同時使用は可能か?.....	5-5
	Q: ファイルの送受信中に「書き込みに失敗しました」と表示された.....	5-5
	Q: ファイルの送受信中に「タイムアウトです」と表示された.....	5-5
	Q: ファイルの送受信中に「接続に失敗しました」と表示された.....	5-5
	Q: 端末の IP アドレス等の設定をコンピュータから一括設定したい.....	5-5
	Q: アプリケーションの起動やファイルの送受信ができない.....	5-6
	Q: ファイルが壊れているようなのですが.....	5-6
	Q: 「システムエラー」と表示され、キーを押したら電源が OFF になった.....	5-6
	Q: タグが読み取れない.....	5-6
	Q: 外付けアンテナユニットで読み取れない.....	5-6
<hr/>		
付録 A	システムメニュー出荷時設定一覧	A-1
付録 A-1	システムメニュー出荷時設定一覧.....	A-2
<hr/>		
付録 B	サンプルバーコード	B-1
付録 B-1	サンプルバーコード.....	B-2
<hr/>		
索引		索引-1
索引.....		索引-2

IC

XIT-150-BR

XIT-150-BR ISO/IEC 15693 ISO/IEC 18000-3(mde-1) IC

Tag-it HF-I Pro Tag-it HF-I Plus I-CODE SLI my-d MB89R118

XIT-150-BR

XIT-150-BR

RoHS

RoHS Restriction of the use of the certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment

PBDE

2

PBB

6

EU

XIT-150-BR	1
HBC-51	1
.....	1
CD-ROM GID-001	

AU-002

DC-001

DC-002

QC-001

QC-002


BluePorter WLF-001

Web

WebGlider-X WBG-001

5250

Handy5250 HTN-5250A

	
注意	
「XIT-150-BR」 「端末」	LAN XIT-150-BR
「アクセスポイント」	LAN XIT-150-BR TCP/IP LAN PC IEEE802.11b/g
「WLAN」	LAN
「システムプログラム」	XIT-150-BR OS
「システムメニュー」	
「WebGlider-Xブラウザ」	WebGlider-X Web
「WebGlider-X」	Web WebGlider-X WBG-001
「BluePorter」	PC Bluetooth
「Fドライブ」	F
「Sドライブ」	
「バッテリーカートリッジ」	HBC-51
「バックアップ電池」	
「読取りキー」	
「ローカルデバイス」	Bluetooth XIT-150-BR XIT-150-BR
「リモートデバイス」	Bluetooth
「デフォルトデバイス」	Bluetooth
ICタグ	IC XIT-150-BR IC
外付けアンテナ	AU-002

- 第1章 ハードウェア編
XIT-150-BR
- 第2章 ソフトウェア編
XIT-150-BR
- 第3章 システムメニュー編

- 第4章 外付けアンテナユニット (AU-002編)
AU-002
- 第5章 FAQ (よくある質問と回答)

- 付録A システムメニュー出荷時設定一覧

- 付録B サンプルバーコード

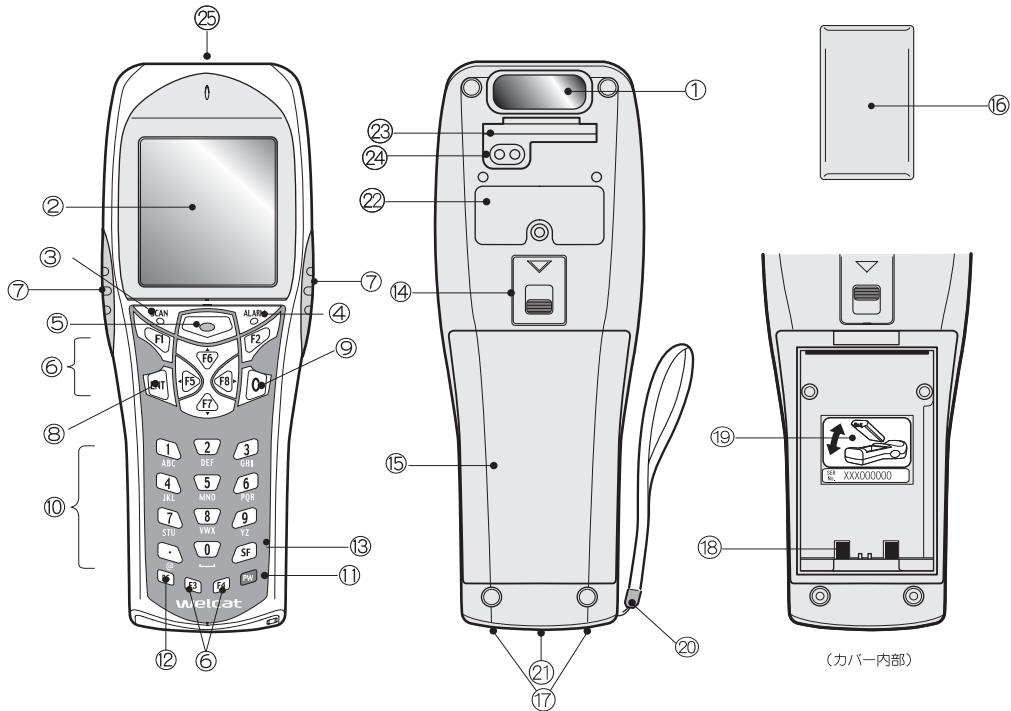
- 索引



A large rectangular area with a dark green, marbled or textured background, resembling stone or a similar material. The texture consists of irregular, vein-like patterns in various shades of green.

第1章

ハードウェア編

1-1 各部の名称



- ① 読取り口
 バーコードを読取るための開口部です。レーザ光が放射されますのでのぞき込まないでください。
 開口部内部は、RFID用アンテナが内蔵されています。ICタグをこの部分に近づけることにより読書きが
 できます。
- ② LCD(液晶表示器)
 データや文字、画像を表示します。
- ③ SCAN LED
 バーコードおよびICタグを正しく読取ると緑色に点灯します。本体充電中は赤色に点灯し、本体充電完
 了時には緑色に点灯します。
- ④ ALARM LED
 無線通信の状態を表します。アクセスポイントとの電波状態、およびEAP認証処理の状態を表します
 (P.1-13参照)。
- ⑤ 読取りキー
 バーコードおよびICタグを読取るときに押します。
- ⑥ ファンクションキー (F1~F8)
 機能の切り換えやカーソル操作をします。
- ⑦ F9キー、F10キー
 機能の切り換えやカーソル操作をします。左側がF9キー、右側がF10キーとして扱われており、このキー
 をバーコードおよびICタグの読取りに使用するにはソフトウェアでの対応が必要になります。
- ⑧ キー(エンターキー)
 入力したデータや操作を確定、実行するときを押します。
- ⑨ キー(キャンセルキー)
 操作を一つ前の状態に戻したり、入力した文字を全て消去します。

⑧ ⑨,⊙

Ⓟ

ON/OFF

Ⓟ

1

Ⓟ

⑳

㉑

㉒

AU-002

㉓

㉔

1-2

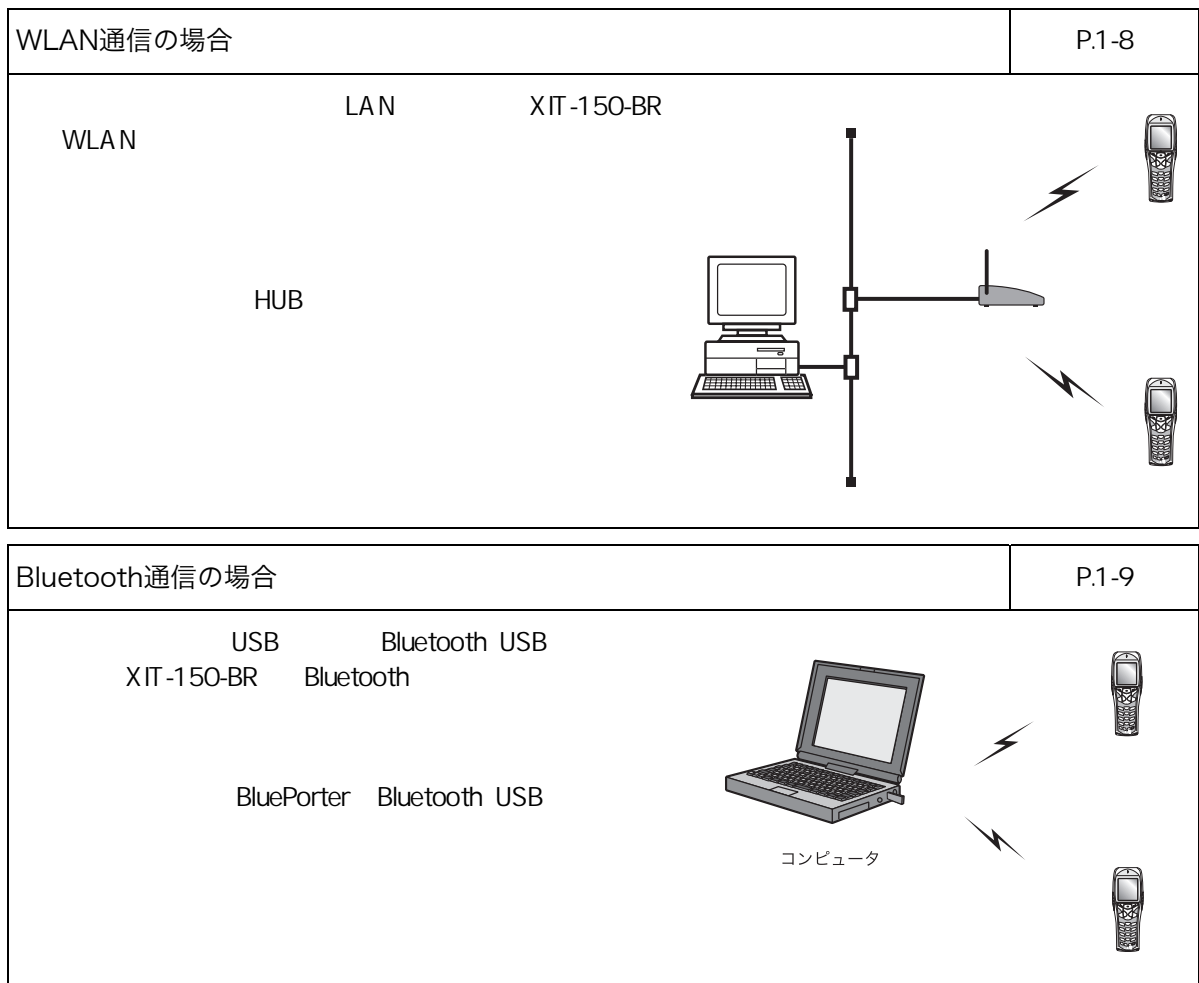
XIT-150-BR

- バッテリーカートリッジ-HBC-51-XIT-150-BR
- 読取り口は汚れていませんか？
- 充電端子は汚れていませんか？

1-2-1 機器の接続

XIT-150-BR

2



1-2-2 周辺ソフトウェアについて

XIT-150-BR

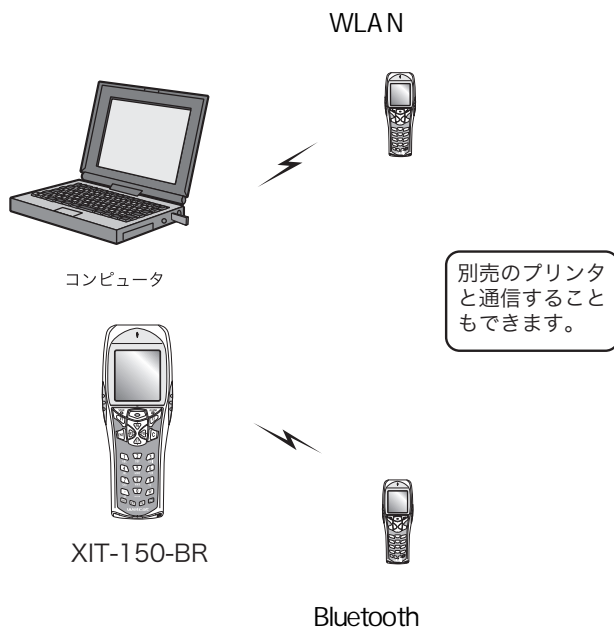
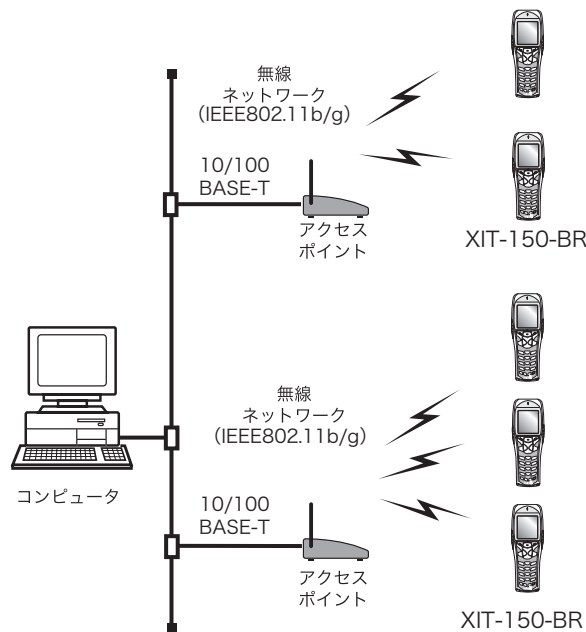
ソフトウェア名	準備・用途
Web対応統合ミドルウェアパッケージ WebGlider-X	WebGlider-X WebGlider-X WebGlider-X
ハンディターミナル用5250エミュレータHandy5250	AS/400 5250
転送ユーティリティ BluePorter	Bluetooth Bluetooth USB

1 - 3

■XIT-150-BRの無線機能

XIT-150-BR

XIT-150-BR	WLAN 54Mbps	Bluetooth 2 75m IC	IC	WLAN Bluetooth ver1.2	IEEE802.11b/g 10m
------------	----------------	--------------------------	----	--------------------------	----------------------



■WLAN無線通信の方式

WLAN IEEE802.11b/g
IEEE802.11b/g IEEE802.11b/g

注意

本製品はインフラストラクチャモードのみ対応しております。アドホックモードには対応しておりません。

■アクセスポイントの役割

XIT-150-BR LAN
IP LAN
TCP/IP

注意

アクセスポイントは弊社推奨品をご使用ください。推奨品のメーカー、型番につきましては、弊社営業までお問い合わせください。

1-3-1 データ通信の準備

XIT-150-BR

■WLAN通信

項目	解説	参照ページ
SSID	SSID ESSID SSID	P.3-22
	SSID	P.3-24
TCP/IP	LAN TCP/IP	P.3-35
FTP	WebGlider-X FTP FTP	P.3-38
DHCP	DHCP WebGlider-X DHCP	P.3-36
DNS	DNS DNS	P.3-41

DHCP P.3-36
DHCP

WebGlider-X

注意

「①SSIDの設定」、「②セキュリティの設定」項目をDHCPクライアント機能を使用して設定することはセキュリティ上の弱点となるため、なるべく使用しないでください。

■Bluetooth通信

	項目	解説	参照ページ
	ID	X IT-150-BR ID BluePorter WebGlider-X ID	P.3-57
	Bluetooth		P.3-63

1-3-2 データ通信の方法

■WLAN通信の場合

WLAN

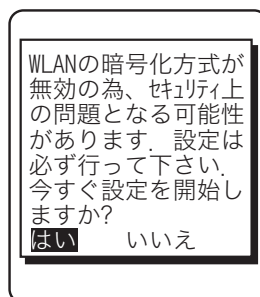
操作手順

LAN

ON

WLAN

WLAN



WLAN

TCP/IP

P.3-35

IP

Ping

IP

Ping

FTP

P.3-53

P.3-46

注意

DHCP 機能 (P.3-36) をご使用になる場合は、別途「WebGlider-X」が必要です。

Bluetooth通信の場合

Bluetooth

操作手順

BluePorter

Bluetooth USB

USB

BluePorter

XIT-150-BR ON

XIT-150-BR

P.3-53

XIT-150-BR

P.3-46

1-4

CPU		32 RISC CPU
OS		μTRON
	ROM	16MB 12MB ----- 6MB wav out 5MB
	RAM	16MB 6MB
RFID		13.56MHz
		ISO/IEC 15693 ISO/IEC 18000-3(mode1)
		ASK FSK ASK
	**1	0 100mm ² 0 300mm ²
		ISO/IEC 15693 ISO/IEC 18000-3(mode1) *3
		NW-7 CODE39 JAN-13/8 UPC-A/E 2of5 ITF CODE93 CODE128 EAN128 RSS-14 Stack RSS Limited RSS Expanded ⁴
		74
		360mm
		2 JIS C 6802
		1mW
		650±10nm
		100 /
	PCS	0.45 70%
		0.127mm
LED	SCAN LED	/ /
	ALARM LED	WLAN
LCD		FSTN
		132 W ×128 H
		10 ×10 12 8 ×8 16
		20 ×10 12 16 ×8 16

		38 W × 44 H mm
		JIS ANK 4
		8
		LED
		27
		58 W × 162 D × 40 H mm 45 W × 26 H mm
		217g
		-5 50
		20 80%
		-10 60
		10 90%
		IEC IP54 JIS
		1.2m 6 5 5
		4,000lx 80,000lx
		IC 20 20 20 1 (1 WLAN) 24 20 1 WLAN
		4 /

	Bluetooth		Bluetooth Ver1.2		
			ARIB STD-T66		
			2.4GHz		
			921.6kbps		
			Class2		
			10m ⁶		
	WLAN		IEEE802.11b/g		
			ARIB STD-T66/RCR STD-33A		
			DSSS OFDM		
			2.4GHz		
			OFDM 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps DSSS 11/5.5/2/1 Mbps		
			OFDM 13 DSSS 14		
			WEP 40/128	OPEN SHARED	WEP 40/128
			WPA-PSK	PSK	TKIP
			WPA 2-PSK		CCMP AES
			WPA	EAP-TLS	TKIP
	WPA 2	EAP-PEAP-MSCHAPv2	CCMP AES		
		75m	200m		
		SNMP			
MB		MIB-II RFC1213 Welcat Enterprise MIB			

1

2 Tag-it HF-I 86mm×54mm

3 Tag-it HF-I Pro Tag-it HF-I Plus I-CODE SLI my-d MB89R118

4 RSS Expanded Stacked

5

6

Bluetooth USB

2m

■無線通信時のALARM LEDの表示

ALARM LED

LEDの状態	意味
	EAP P.3-29

■端末充電中のSCAN LEDの表示

SCAN LED

LEDの状態	意味

1-5

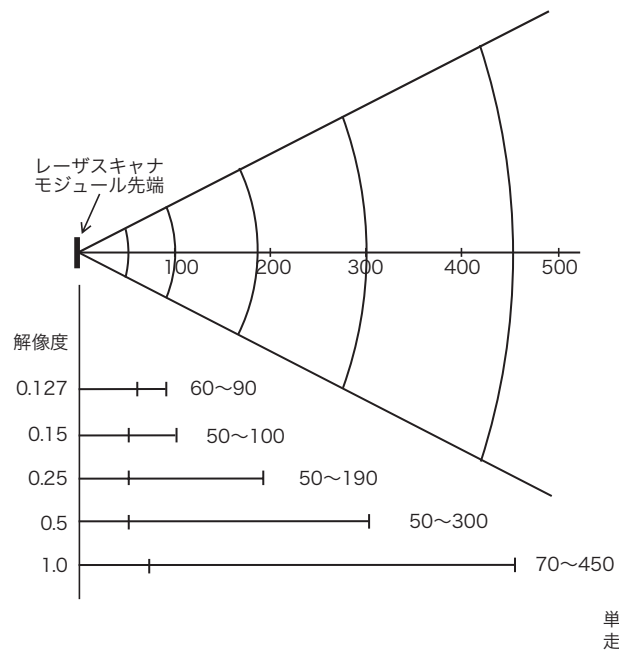
■レーザ光の照射角度

XIT-150-BR

54°

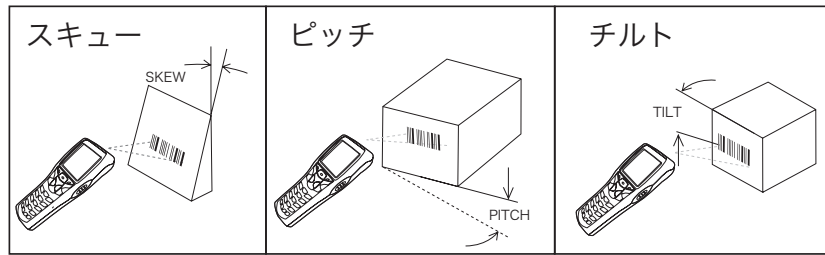
■読取り深度

XIT-150-BR



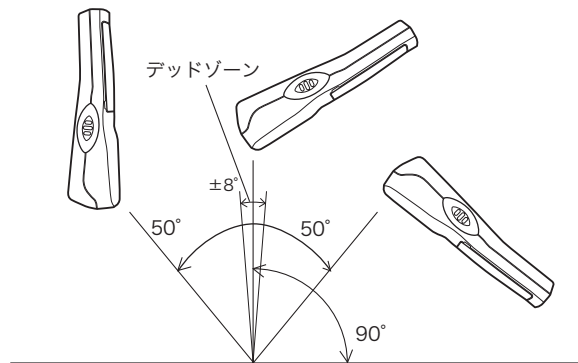
■バーコードの傾きと読取り可能角度

3



●スキュー

50°



注意

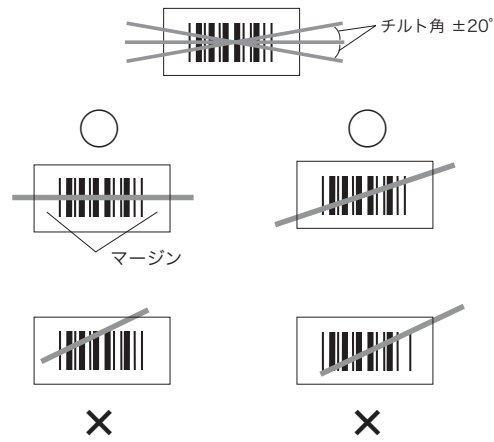
バーコード正面の垂直 $\pm 8^\circ$ は正反射によるデッドゾーンで、読取りが悪くなる、誤読する等の現象が出ることがあります。特に表面反射の大きなバーコードの場合は注意が必要です。このような場合、角度を変えて読み取る、バーコードラベルの材質を変更する等で回避可能です。上手く読取れない場合は、角度を変えて再度読取りを行なってください。

●ピッチ

35°



●チルト

**注意**

必ずレーザー光がラベルを横切るようにしてください。上図「×」の例のようにバーコードを欠いて照射した場合、誤読の原因となることがあります。また、バーコードの左右には一定幅の余白が必要です。文字や罫線等が余白部分にあると読取りが悪くなる場合があります。

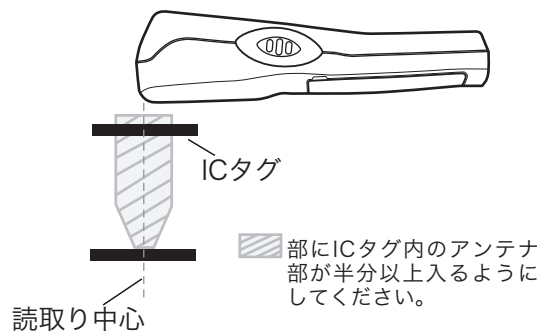
参照

測定条件は以下の通りです。

- ・ レーザスキャナモジュール先端より 110mm
- ・ 使用ラベル
 ピッチ角度、スキュー角度、デッドゾーン測定時:PCS=0.9、分解能=0.25mm、
 Code39 9 桁 NW 比 1:2.5 マージン=10mm
 チルト角度測定時:PCS=0.9 分解能=0.26mm 13 桁 JAN マージン=10mm

1-6 IC

IC /

**注意**

金属の近くでは読取り距離が短くなる場合があります。IC タグまたは端末に金属を近づけないようにしてください（金属箔シール類も含む）。

注意

外付けアンテナユニット（AU-002）を使用しない場合は、XIT-150-BR の外付けアンテナ接続端子に保護シールを貼ってください。貼らずにご使用になりますと、誤動作の原因になる可能性があります。

(AU-002)

4

(AU-002)

1-7

1-7-1 本体充電

XIT-150-BR

QC-001/QC-002

1-7-2 シングルチャージャ（QC-001）を使った充電方法

QC-001

4

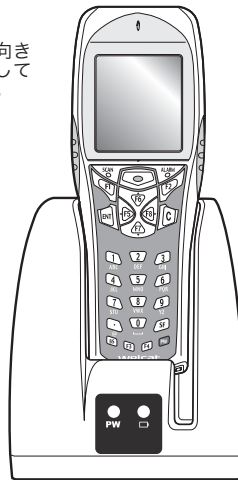
QC-002

■バッテリーカートリッジを端末に装着して充電する

SCAN LED

2.5

端末は下向き
にセットして
ください。



	SCAN LED
	SCAN LED
	SCAN LED

注意

起動中の充電の際にエラーが起こった場合は、右の画面を5秒間表示してから電源がOFFになります。

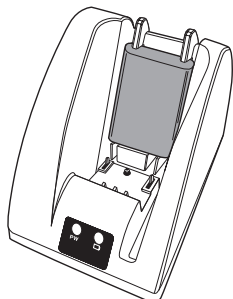
< チャージエラー >

充電中にエラーを
検出しました
端末を終了します

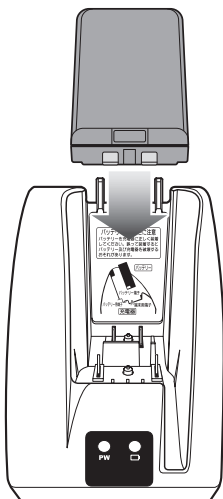
■バッテリーカートリッジ単体を充電する

2.5

LED



	LED
	LED
	LED



バッテリーカートリッジは、ラベル面を背中に向けて、端子を下向きにセットしてください。

1-7-3 マルチチャージャ（QC-002）を使った充電方法

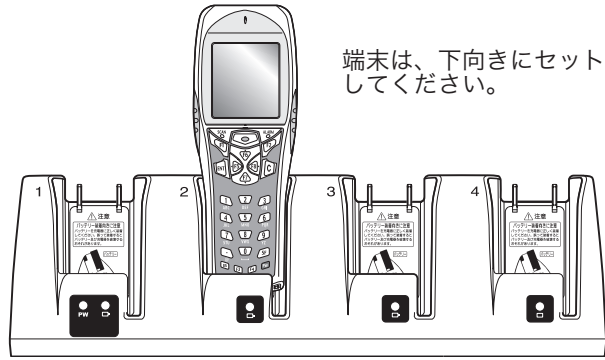
QC-002

■バッテリーカートリッジを端末に装着して充電する

SCAN LED

2.5

	SCAN LED
	SCAN LED
	SCAN LED



注意

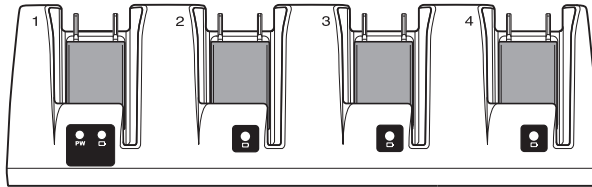
起動中の充電の際にエラーが起こった場合は、右の画面を5秒間表示してから電源がOFFになります。

< チャージ エラー >
 充電中にエラーを検出しました
 端末を終了します

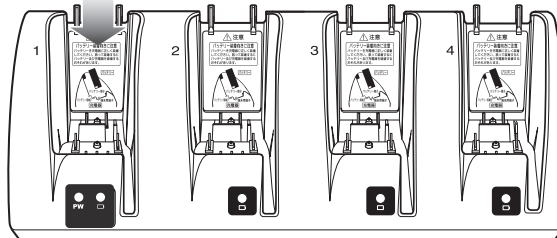
■バッテリーカートリッジ単体を充電する

LED

2.5



バッテリーカートリッジは、ラベル面を背中に向けて、端子を下向きにセットしてください。



注意

充電エラーが発生した場合、再度充電してもエラーが発生するようであればバッテリーカートリッジを外し、弊社営業までご連絡ください。また、エラーの発生したバッテリーカートリッジはご使用にならないでください。

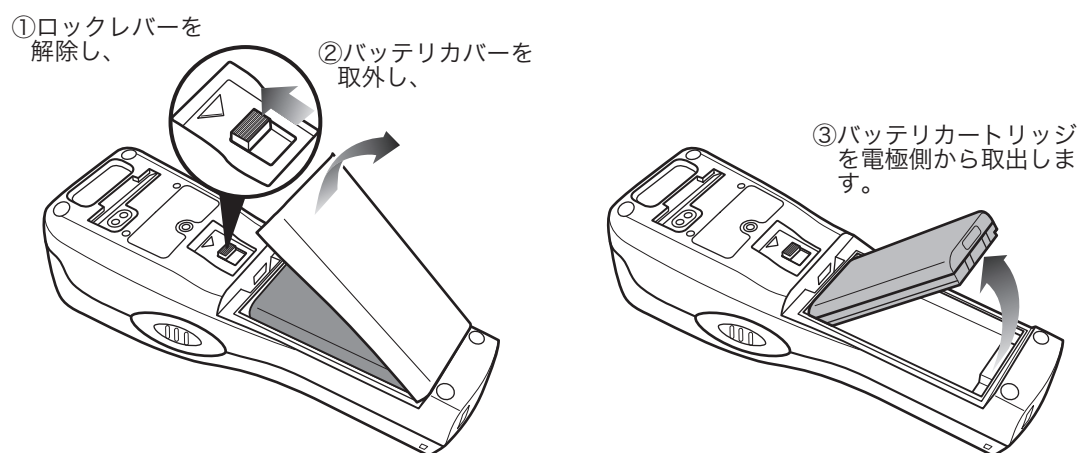
1-8

HBC-51

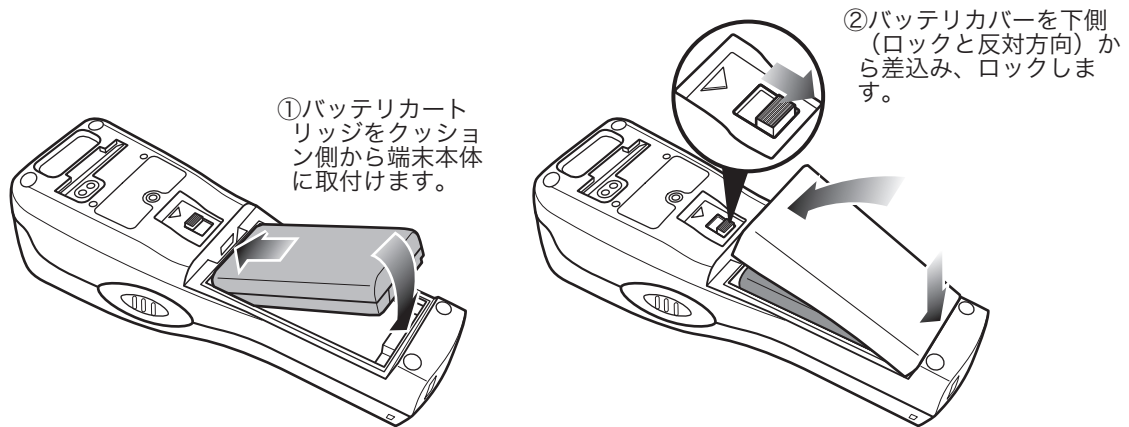
1-8-1 ご使用時の充電

1-8-2 バッテリーカートリッジの取付け、取外し

■バッテリーカートリッジの取外し



■バッテリーカートリッジの取付け



1-8-3 バッテリーカートリッジの消耗と交換



ご使用が終わりましたバッテリーカートリッジにつきましては、「使用済みバッテリーカートリッジ (HBC-51) について」 (P.vii) を参照してください。

1-8-4 電極の清掃に関する注意

OFF

●電極の清掃方法

1-8-5 バックアップ電池の充電

操作手順

XIT-150-BR

1

XIT-150-BR

2

1-9

XIT-150-BR

F

S

2

F

2-1-1

P.2-2

■バッテリーカートリッジによるメモリバックアップ

バッテリー	
用途	XIT-150-BR
充電時間	25
バックアップ期間	25
使用上の注意	<p>S</p> <p>OFF 1-11</p> <p>(PW)</p>

■バックアップ用電池によるメモリバックアップ

バッテリー	
用途	XIT-150-BR S
充電時間	XIT-150-BR 2
バックアップ期間	¹ S 15 ₂ 6 1
使用上の注意	1-10 P.1-25 F

1



2

注意

メモリバックアップの期間は温度等の周囲環境で大きく変わり、0°C以下の場所もしくは40°C以上の場所で保存すると、バックアップ期間が急激に短くなります。バッテリーカートリッジは室温での使用・保存をお奨めします。

1-10

■端末の長期保管について

S

3-15-6

P.3-84


■バッテリーカートリッジの長期保管について

50%





1-11

XIT-150-BR

3-8-3

P.3-17 

ON

		XIT-150-BR OFF	OFF	
		XIT-150-BR	OFF	

注意

端末動作中にバッテリーカートリッジを外した場合は、レジューム機能の有効・無効に関係無く最初からプログラムが実行されるのでご注意ください。

注意

バックアップ用電池が消耗した場合、レジューム機能の有効・無効に関係無く、最初からプログラムが実行されるのでご注意ください。バックアップ用電池の充電については「1-8-5 バックアップ電池の充電」(P.1-22)を参照してください。

1-12

■全角文字

シフト JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
f040	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
f050	N	S _H	S _X	E _X	E _T	E _Q	A _K	B _L	B _S	H _T	L _F	V _T	F _F	C _R	S _O	S _I	
f060	D _L	D ₁	D ₂	D ₃	D ₄	N _K	S _Y	E _B	C _N	E _M	S _B	E _C	F _S	G _S	R _S	U _S	
f070	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	Ⓜ	Ⓒ	Ⓟ	Ⓢ	Ⓞ		
f080	⊖	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	
f090	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	
f0a0		□	△	Ⓢ	☺	☹	○	◎	●	⊙	⊘	○	□	☑	♪		
f0b0	Ⓛ	□	■	■	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	
f0c0											→	↑	←	↓	↕	↔	
f0d0					⇒	⇨	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	
f0e0					▲	▲	▼	◀	▶	◀	▶	Ⓣ	Ⓞ	Ⓜ	R _S	P _D	Q _R
f0f0	J _A	U _P	N _W	I _T	I _N	C ₃	C ₁₂₈	E ₁₂₈	M _R	M _X	W _P	I _N	C ₉				

■半角文字

上 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		≡		0	@	P	'	p	△		⌋	-	タ	ミ		
1	⌈		!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム		
2	⌋	↑	"	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ		
3	⌋		#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ		
4	⌋	▨	\$	4	D	T	d	t			,	エ	ト	ヤ		
5	⌋	≡	%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ		
6	=	≡	&	6	F	V	f	v			フ	カ	ニ	ヨ		
7	↓	≡	'	7	G	W	g	w			ア	キ	ヌ	ラ		
8			(8	H	X	h	x			イ	ク	ネ	リ		
9	○	≡)	9	I	Y	i	y			ウ	ケ	ノ	ル		
A		▨	*	:	J	Z	j	z			エ	コ	ハ	レ		
B	⊗	↶	+	;	K	[k	{			オ	サ	ヒ	ロ		
C		↑	,	<	L	¥	l				ヤ	シ	フ	ワ		
D			-	=	M]	m	}			ユ	ス	ヘ	ソ		シ
E	■	→	.	>	N	^	n	¯			ヨ	セ	ホ	ッ		入
F	※	←	/	?	O	_	o				ツ	ソ	マ			力

A large rectangular area with a dark green, marbled or textured background, resembling stone or a similar natural material. The texture consists of irregular, vein-like patterns in various shades of green.

第2章

ソフトウェア編

2-1

XIT-150-BR

2

	XIT-150-BR OS XIT-150-BR
	WebGlider-X AS/400 WebGlider-X AS/400 Web Handy5250 AS/400



システムメニューについての詳細は、「第3章 システムメニュー」(P.3-2)をご覧ください。

「WebGlider-X」についての詳細は、製品パッケージに付属のオンラインマニュアルをご覧ください。

2-1-1 データの格納場所

■データの格納場所について（ドライブの構成）

XIT-150-BR

F

S

2

ドライブ	データ保持	用途	最大保存数
F			64
S			64

S

F

S

F

S

■ファイル名について

XIT-150-BR

ファイル名の長さ	31
使用可能文字	<p style="text-align: center;">A Z 0 9 !#%&' @^_{}.</p> <p style="text-align: center;">SHIFT JIS</p>
その他の制限事項	.

■拡張子について

XIT-150-BR

.OUT	
.WAV .MP3 .SFL	<p>XIT-150-BR WAV MP3 P.3-49</p> <p>SFL P.3-49</p>
.BMP	<p>XIT-150-BR P.3-49</p>

■システムやアプリケーションが作成するファイル

XIT-150-BR

		F
4		
WebGlider-X	HTTP	S
HTTP.LOG		
HTTPTEMP		
HEADTEMP		
	SQLite	
1 S		

2-2

XIT-150-BR

3

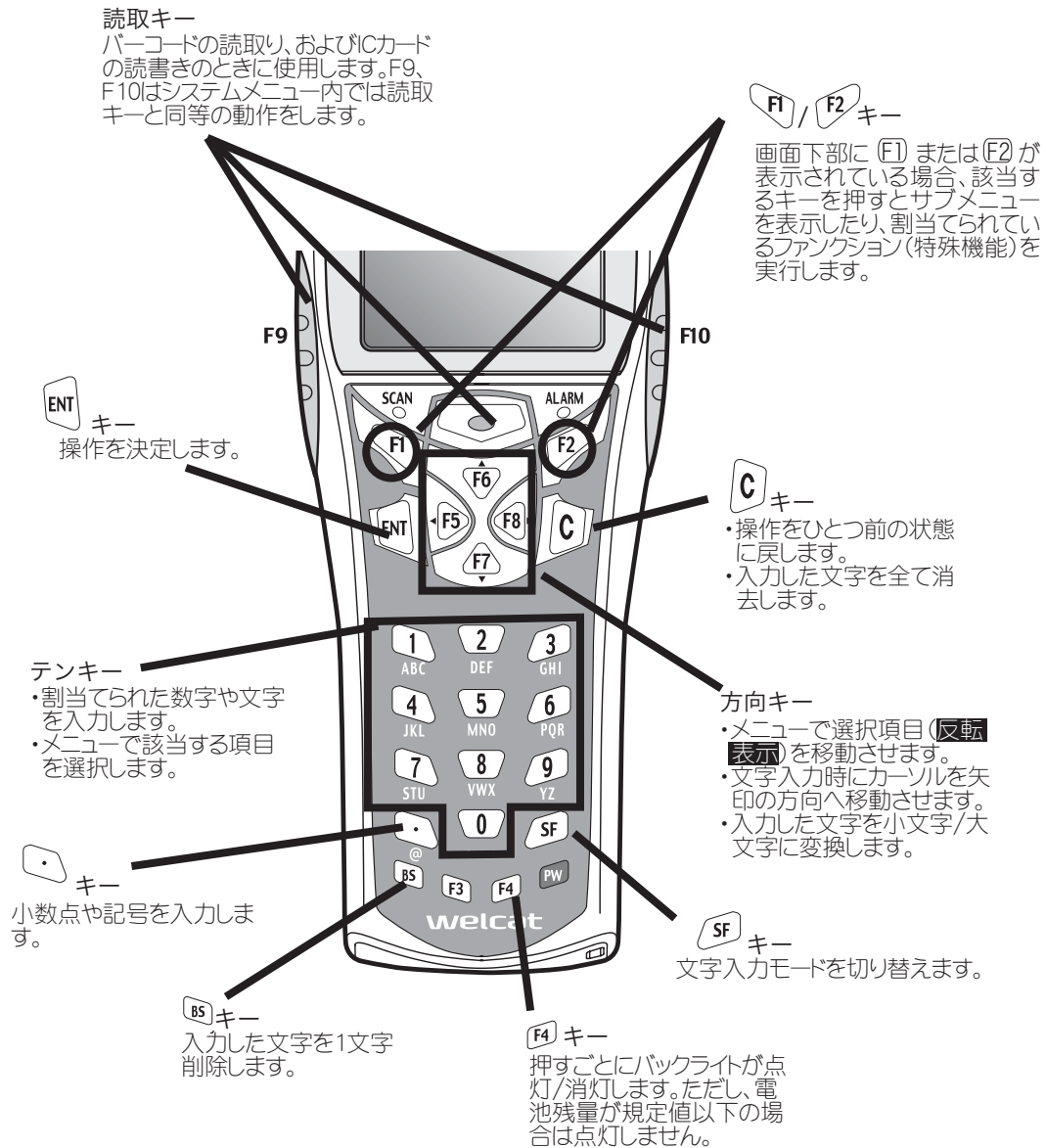
P.3-2

A large rectangular area with a dark green, marbled or textured background, resembling stone or wood grain. The texture is composed of irregular, vein-like patterns in various shades of green.




第3章

システムメニュー編

3-3



■キーの文字割当て一覧

キー	数字入力モード	英字入力モード
	1	A B C
	2	D E F
	3	G H I
	4	J K L
	5	M N O
	6	P Q R
	7	S T U
	8	V W X
	9	Y Z
	0	□
		\$ - + / % : # @ &

3-4

■メニューから目的の項目を選択する

- 項目を選ぶ

⊖ ⊕

F5 F8

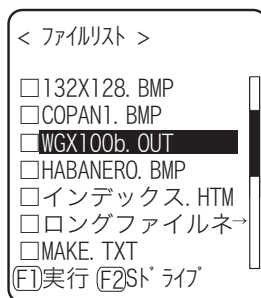
- 項目を決定する

⏎

- 選択を中止する

ⓐ

- 画面の表示について



■バーコードでデータを入力する

- バーコードを読取る

- バーコードの読取り条件

NW-7 CODE39 JAN13/8 UPC-A/E
RSS Limited

2of5 ITF CODE93 CODE128 RSS-14

■キーでデータを入力する

- 文字入力モードを切り替える

XIT-150-BR Ⓞ
/

Ⓢ

- 数字を入力する

⓪ ⑨ Ⓞ

- 英字を入力する

① ⑨ F8

F6/F7

- 記号を入力する

⓪ Ⓞ F8
F8

- 入力したデータを確定する

ENT

- 文字を削除する^{※3}

BS

C

- 入力を中止する

Ⓞ Ⓞ

- その他

ID

IP



■その他の操作

- 1つ前の状態に戻る

Ⓒ

- チェックボックスを操作する

 /

 /

- ラジオボタンを操作する

- メッセージボックスを操作する

 ① ②

 ③

 ④

- レベルメーターを操作する

/

 Ⓒ

- バックライトを点灯/消灯する

 /

- サブメニュー/ファンクションを呼出す

- 操作時のインジケータを変更する

/ / /LED

 P.3-71

3-5

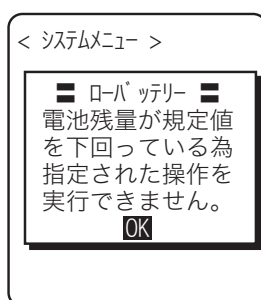
OFF

- 現在の電池残量を確認する

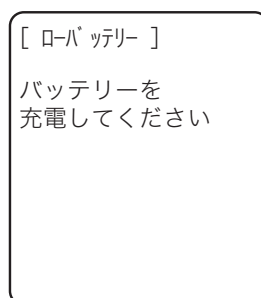
8:

1:

- 電池残量が少ない場合の操作制限



- 電池切れアラーム



OFF

3-6

3-6-1 起動方法

操作手順

XIT-150-BR ON OFF (PW) 1

< システムメニュー >

1:システム	6:端末ID
2:WLAN	7:デバイス
3:ネットワーク	8:メンテナンス
4:受信	9:テスト
5:ファイル	

P.3-15 (PW) P.3-15 F9 F10

3-6-2 DHCP リクエストの実行

P.3-37

WebGlider-X WLAN DHCP TCP/IP FTP

DHCP P.3-15

< DHCPリクエスト実行中 >

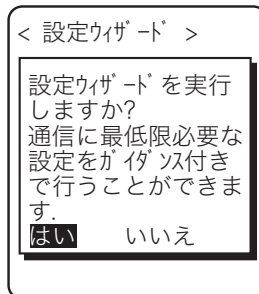
サーバにアクセス
しています

3-6-3 起動直後の WLAN 動作状態

WLAN WLAN

0.5 1

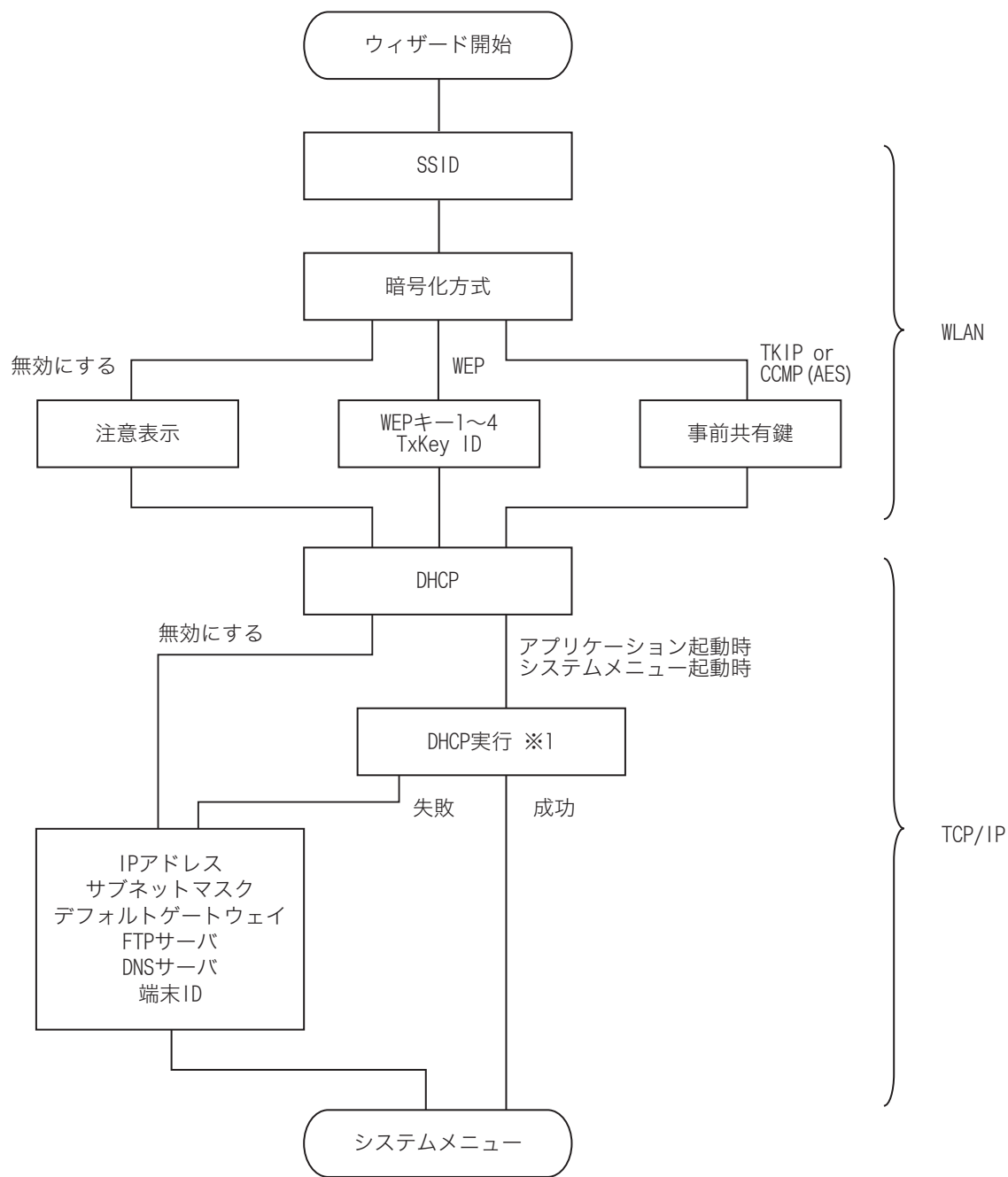
3-6-4 設定ウィザードの実行



WLAN TCP/IP



設定ウィザード内で入力する各項目は、システムメニューで個別に設定することができます。また、システムメニューから設定ウィザードを任意で実行することもできます (P.3-85 参照)。



1

DHCP

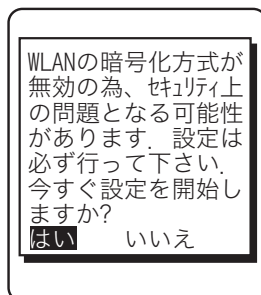
P.3-85

注意

WLAN の認証方式はウィザードでは設定できません。特に EAP 認証では証明書等のファイル受信が必要であるなど設定が複雑なため、手動にて設定してください。

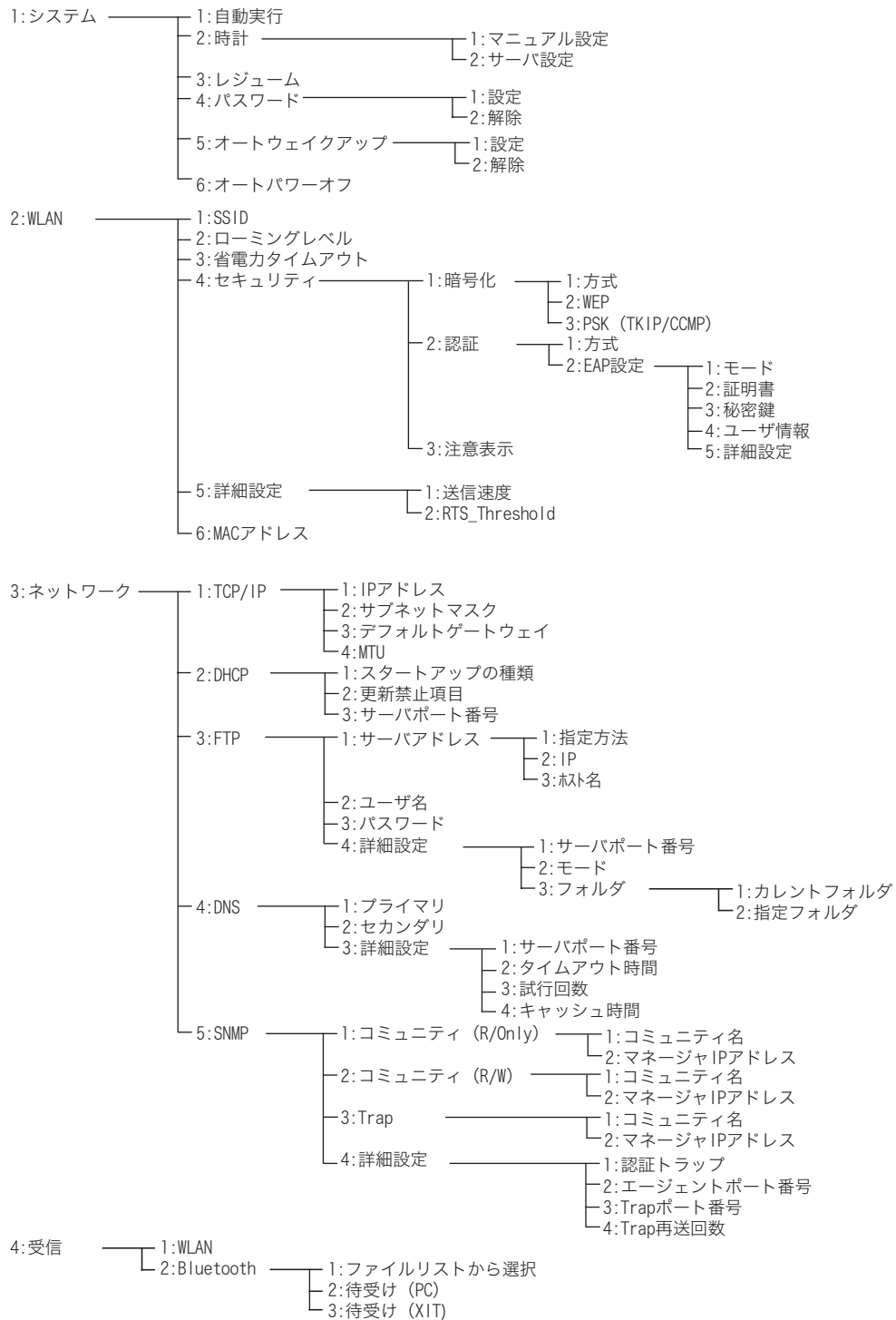
3-6-5 WLAN セキュリティ未設定時の注意

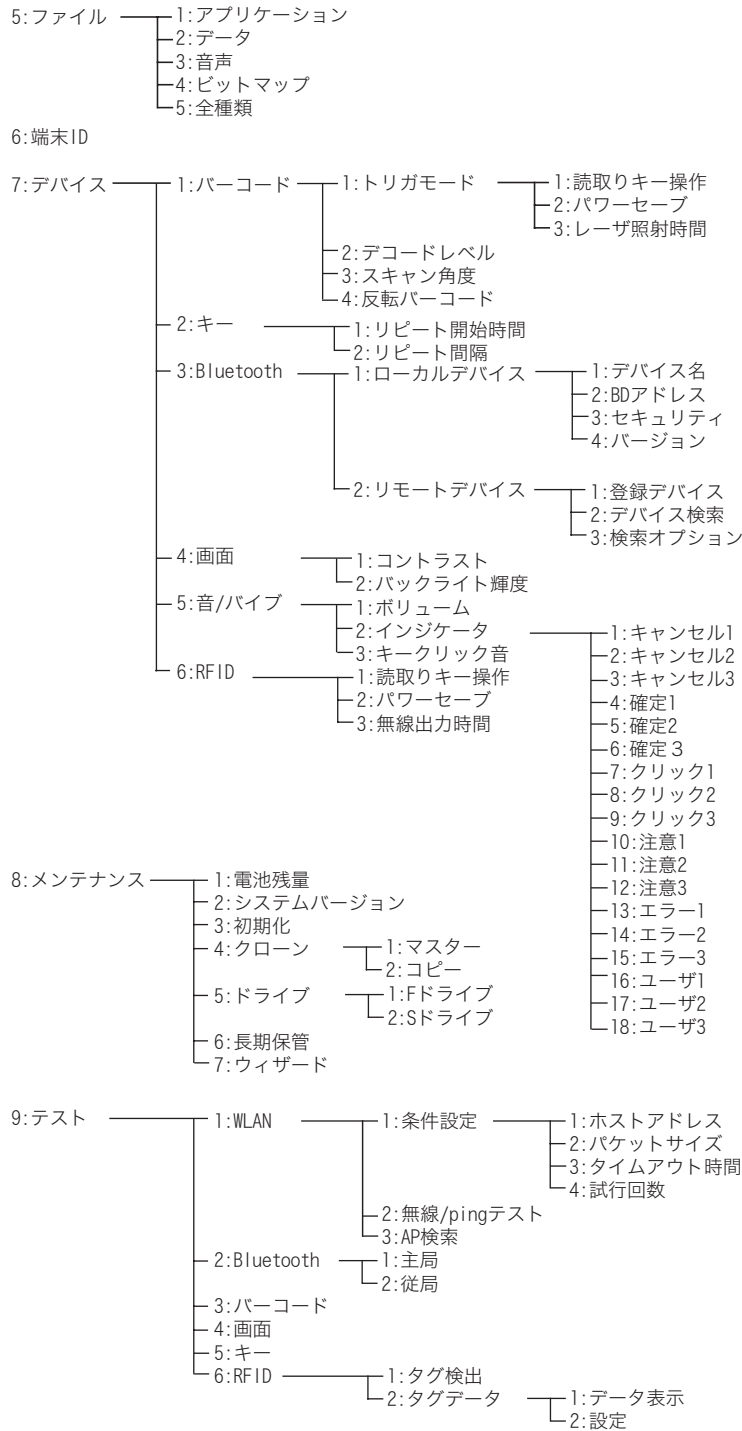
WLAN



2:WLAN

3-7





システムメニューの出荷時設定については、「付録 A-1 システムメニュー出荷時設定一覧」（付録 A-2）を参照してください。

3-8

XIT-150-BR

操作手順

1:

< システム設定 >

1:自動実行

2:時計

3:レジューム

4:パスワード

5:オートウェイクアップ

6:オートパワーオフ

- ・ 自動実行
- ・ 時計
- ・ レジューム
- ・ パスワード
- ・ オートウェイクアップ
- ・ オートパワーオフ

3-8-1 自動実行

ON
DHCP**注意**

DHCP 機能を有効にする場合、詳細は「WebGlider-X」のマニュアルをご覧ください。

操作手順

1:

< 自動実行 >

システムメニュー

WGX150B. OUT

[F1] 情報

< ファイルの情報 >

ファイル名
[WGX150B. OUT]

種類[ファイル]

ライブラリ[1.00]

サイズ[00615834] バイト

更新日時
[2007/04/01]
[00:00:00]

[F1]

[C]

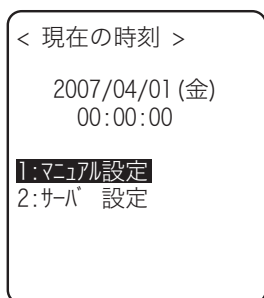
3-8-2 時計

DHCP

■現在の時刻

操作手順

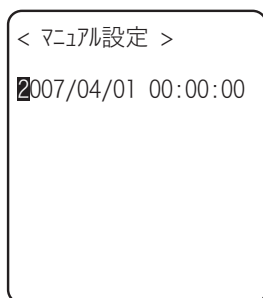
2:



- ・ マニュアル設定
- ・ サーバ設定

■マニュアル設定

操作手順



■サーバ設定

WLAN

SSID

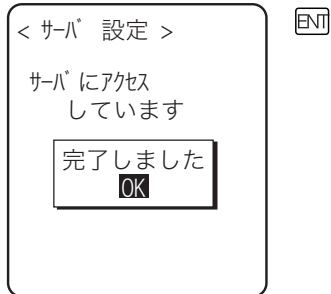
WebGlider-X

DHCP

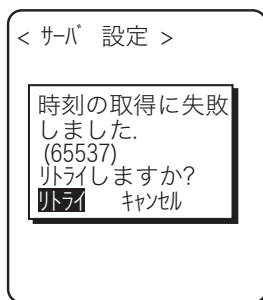
操作手順

WebGlider-X

DHCP



③



③

3-8-3 レジューム

1-11

P.1-26

操作手順

●レジュームが有効な場合

③

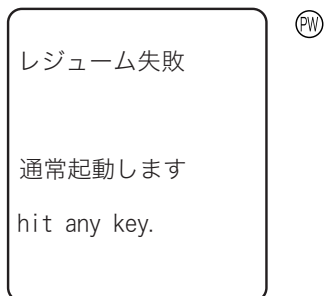
OFF

OFF

③

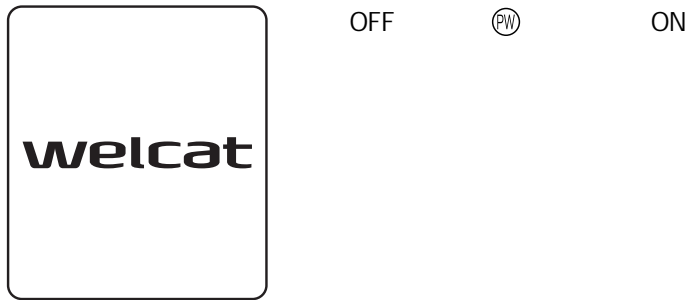
ON

●レジュームが失敗した場合



OFF

●レジュームが無効な場合

**注意**

端末の動作中にバッテリーカートリッジを外すと、レジューム機能は無効となります。レジューム機能を有効にするためにはキーを押下して電源のON/OFFを行なってください。またレジューム機能が有効であっても、ネットワークのDHCP設定の「スタートアップの種類」(P.3-37)が「アプリケーション起動時」または「システムメニュー起動時」が設定されていれば、最初の処理から実行されます。

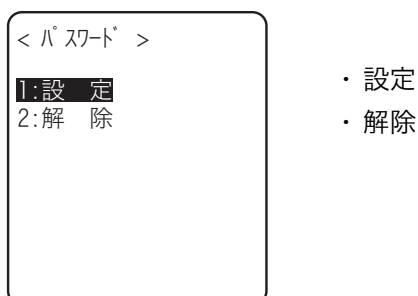
3-8-4 パスワード

**注意**

暗証番号は忘れないようにメモを取って保管してください。万が一忘れてしまった場合は、弊社営業までお問合せください。

操作手順

4:



3-8-5 オートウェイクアップ

DHCP

注意

オートウェイクアップ機能は、**(PW)**キーによって端末を終了した場合にのみ有効です。電池交換をした直後や、ローバッテリーによる強制終了後はオートウェイクアップの設定で指定された日時になっても、端末は起動しません。

■スケジュールの確認

操作手順

5:

< 現在のスケジュール >

毎週月曜日の
07時30分に
起動します。

1:設定
2:解除

- ・ 設定
- ・ 解除

■スケジュールの設定

操作手順

< スケジュールの設定 >

間 隔 **[毎日]**
毎週
毎月

01 31 24

Ⓒ



< スケジュールの設定 >

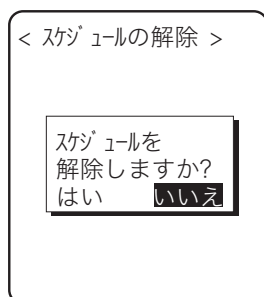
間 隔 [毎月]
日 付 [01]
時 間 [01:00]

24

00:00 23 59

■スケジュールの解除

操作手順

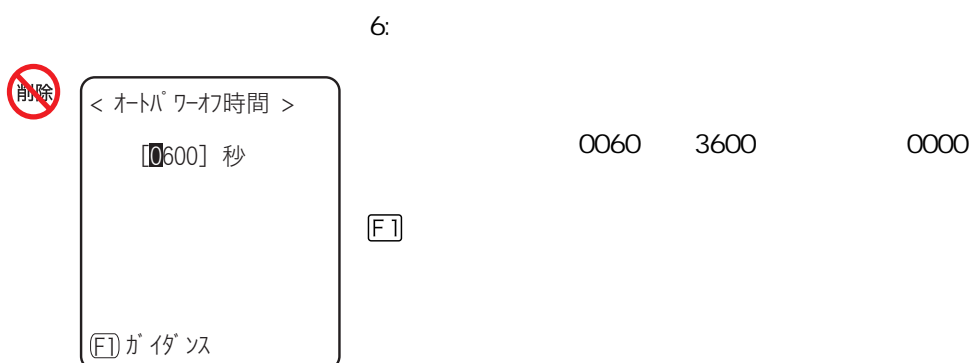


Ⓒ

3-8-6 オートパワーオフ

OFF

操作手順

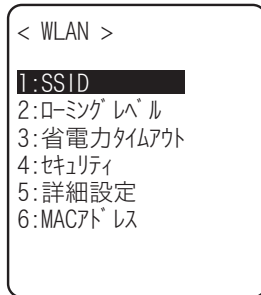


3-9 WLAN

LAN

操作手順

2 WLAN



- ・ SSID
- ・ ローミングレベル
- ・ 省電力タイムアウト
- ・ セキュリティ
- ・ 詳細設定
- ・ MACアドレス

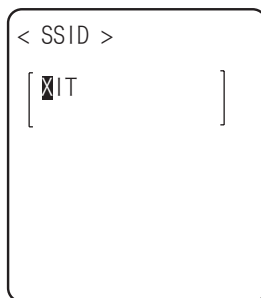
3-9-1 SSID

SSID 32 /
DHCP

操作手順

WLAN

1:SSID



SSID

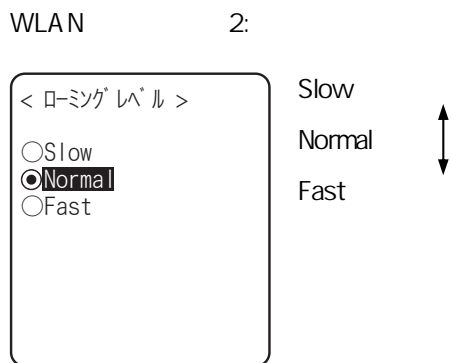
SSID 32

/

3-9-2 ローミングレベル

SSID DHCP

操作手順



3-9-3 省電力タイムアウト

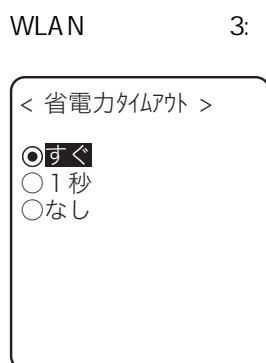
WLAN DHCP DTIM

WLAN

WLAN

WLAN DTIM

操作手順



注意

DHCP 機能を有効にする場合、詳細は「WebGlider-X」のマニュアルをご覧ください。

3-9-4 セキュリティ

WLAN

操作手順

WLAN

4

< セキュリティ >

1:暗号化
2:認証
3:注意表示

- ・ 暗号化
- ・ 認証
- ・ 注意表示

■暗号化

操作手順

< 暗号化 >

1:方式
2:WEP
3:PSK (TKIP/CCMP)

- ・ 方式
- ・ WEP
- ・ PSK (TKIP/CCMP)

●方式

操作手順

< 方式 >

無効にする
WEP (40 bit)
WEP (128bit)
TKIP
CCMP (AES)

注意

認証方式 (P.3-28) で「EAP」を使用する場合、「無効にする」、「WEP (40bit)」、「WEP (128bit)」を設定すると通信できません。

●WEP

Wired Equivalent Privacy
IEEE802.11b/g

XIT-150-BR

XIT-150-BR WEP
40bit 64bit

128bit 2 WEP

操作手順

< WEP >

1:TxKeyID

KEY-1

KEY-2

KEY-3

KEY-4

2:Key設定

・TxKey_ID

KEY	KEY1	KEY4	ID	WEP
-----	------	------	----	-----

ここで設定された TxKey_ID の WEP キーの内容とアクセスポイントの WEP キーの内容が一致し、かつアクセスポイントで設定されている TransmitKEY の WEP キーの内容と端末側の WEP キーの内容が一致していなければ通信できません。

注意 例えば、端末の TxKey_ID を「2」とした場合、端末の WEP キー2の内容とアクセスポイントの WEP キー2の内容が一致する必要があります。逆にアクセスポイントの TransmitKey を「3」とした場合、アクセスポイントの WEP キー3の内容と端末の WEP キー3の内容が一致する必要があります。

・KEY設定

WEP	1	2	3	4				
HEX					A	F	ASCII	[F]

HEX

< Key1-設定 >

[00000000000000]

[00000000000000]

[F] ASCII

40bit	10	128bit
26		26
40bit	26	10

ASCII

< Key1-設定 >

(F1) HEX

40bit	5	128bit
13		13
40bit	13	5
	0x20	

注意 各 WEP キーの設定は上書きはできますが、編集はできません。
 KEY 設定画面に入るとセキュリティ上の観点から常に"00000..."を表示するようになっています。

●PSK (TKIP/CCMP)

< PSK (TKIP/CCMP) >

PSK TKIP/CCMP

ASCII	8	63	16
	64		
PSK TKIP/CCMP		P.3-28	Open

セキュリティ機能について

XIT-150-BR WLAN WPA WPA2

■WPA (WPA-PSK) 、WPA2 (WPA2-PSK) について

WPA Wi-Fi Protected Access

LAN

Wi-Fi Alliance 2002 12

IEEE802.11i

IEEE802.11i

IEEE802.1X EAP

WEP

TKIP

WPA2 IEEE802.11i

IEEE802.11i IEEE 2004 6

LAN

IEEE802.1X

EAP AES

WPA IEEE802.11i

WPA2 IEEE802.11i

PSK

PSK

Pre-Shared Key

WEP

PSK

WPA-PSK WPA2-PSK

WPA WPA2 IEEE802.1X EAP

RADIUS

PSK

PSK

TKIP/CCMP AES

WEP

■暗号化方式

XIT-150-BR

TKIP

TKIP IEEE802.11i LAN

Temporal Key Integrity Protocol

WEP

RC4

WEP

RC4

2

AES

AES

Rijndael

AES

2

WEP TKIP

CCMP

CCMP Counter mode with CBC-MAC Protocol AES

CBC-MAC Cipher-Block Message Authentication Code

WPA2 IEEE802.11i

CCMP

■ 認証

操作手順

< 認証 >

1:方式
2:EAP設定

●方式

< 認証 >

Open
 Shared
 EAP

- ・ Open
Open
XIT-150-BR

WEP

WEP

- ・ Shared
Shared Key

WEP

WEP

- ・ EAP
EAP IEEE802.1X

RADIUS

EAP

注意

「Shared Key 認証」方式を使用すると、暗号化前と暗号化されたチャレンジコードが第三者に傍受され、容易に WEP キーが割り出される危険性がありますので、なるべく使用しないでください。

参照

アクセスポイントによっては認証分類を公開していない場合もあります。その場合は「Open 認証」で試し、接続ができなければ「Shared Key 認証」で試してください。

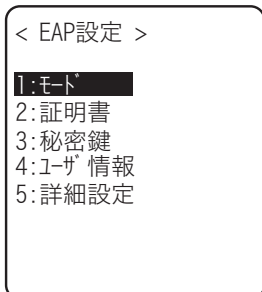
●EAP設定

EAP IEEE802.1X

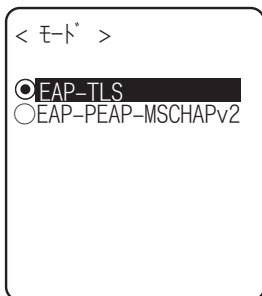
/ping

P.3-88

EAP



操作手順



・ EAP-TLS

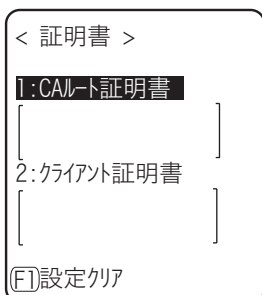
CA

・ EAP-PEAP-MSCHAPv2

CA

FTP P.3-38

Bluetooth P.3-63



・ CAルート証明書 (ファイル)

CA

[F1]

・ クライアント証明書 (ファイル)

[F1]

< ファイルの参照 >

ROOTCERT. CER
CLIENTCERT. CER
PRIVATE. KEY

F1

F1情報

< 証明書 >

1: CAルート証明書

2: 設定内容を
クリアしますか?
はい いいえ

F1設定クリア

FTP P.3-38 Bluetooth P.3-63

< 秘密鍵 >

1:ファイル

[]

2:パスワード

[*****]

[*****]

[F1]設定クリア

・ファイル

・パスワード
0 31

/

*

< ファイルの参照 >

ROOTCERT.CER

CLIENTCERT.CER

PRIVATE.KEY

[F1]情報

[F1]

< 秘密鍵 >

1:ファイル

[]

2:設定内容を
クリアしますか?

*はい いいえ

[*****]

[F1]設定クリア

[F1]

< ユーザ情報 >

1:ユーザ名

[]

2:パスワード

[*****]

[*****]

・ユーザ名

62

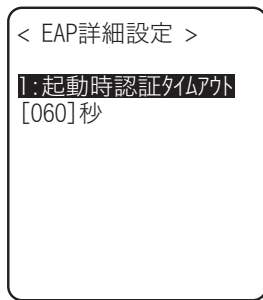
/

・パスワード

0 31

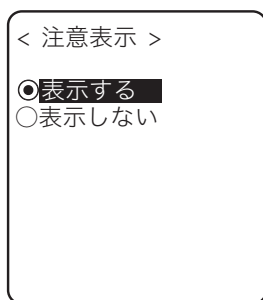
/

*



- ・ 起動時認証タイムアウト
WLAN :15 120

■ 注意表示



WLAN ON
 WLAN OFF

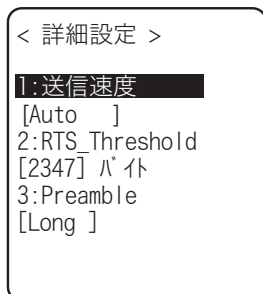
注意 この設定を OFF にすることはセキュリティ上推奨しません。WLAN 通信をする場合、セキュリティ設定を行ってください。

3-9-5 詳細設定

WLAN

操作手順

WLAN 5



●送信速度

DHCP P.3-36

14ch

		14ch ¹	²		
			11b/g	11b Only	11g Only
11 Auto	IEEE802.11b 11,5.5,2,1Mbps				×
11bg Auto		×			
11g Auto	IEEE802.11g 54 48 36 24 18 12 9 6 Mbps	×			
11g 6 or 9M	9Mbps 6Mbps	×			
1M	1Mbps				×
2M	2Mbps				×
1 or 2M	1Mbps 2Mbps				×
5.5M	5.5Mbps				×
11M	11Mbps				×

¹ 14ch

×

²

11g
11b
11b/g

×

●RTS Threshold

RTS RTS-CTS

RTS CTS

RTS-CTS
2347

0 2347

3-9-6 MAC アドレス

MAC

MAC

操作手順

WLAN

6 MAC

< MACアドレス >

[00:16:41:C1:B9:BD]

3-10

TCP/IP

操作手順

3:

< ネットワーク >

1:TCP/IP
2:DHCP
3:FTP
4:DNS
5:SNMP

- ・ TCP/IP
- ・ DHCP
- ・ FTP
- ・ DNS
- ・ SNMP

3-10-1 TCP/IP

IP TCP/IP
DHCP

操作手順

1:TCP/IP

< TCP/IP >

1:IPアドレス
[000.000.000.000]
2:サブ ネットマスク
[000.000.000.000]
3:デフォルトゲートウェイ
[000.000.000.000]
4:MTU
[1500] オクテット



< TCP/IP >

1:IPアドレス
[192.168.254.254]
2:サブ ネットマスク
[000.000.000.000]
3:デフォルトゲートウェイ
[000.000.000.000]
4:MTU
[1500] オクテット

192.168.254.254 000 255
IP

- ・ IPアドレス
XIT-150-BR IP
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ IP
- ・ MTU
IP 1500

注意 IP アドレスが [000.000.000.000] の状態では、無線 LAN 通信を実行できません

注意 各項目の設定値については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。DHCP 設定の「スタートアップの種類」(P.3-37)で「アプリケーション起動時」または「システムメニュー起動時」を選択した場合、MTU 以外は確認のみとなり、変更することはできなくなります。

3-10-2 DHCP

TCP/IP

DHCP

操作手順

2:DHCP

< DHCP >

1: **スタートアップの種類**
 2: 更新禁止項目
 3: サーバポート番号
 [08067]

(F1)実行

- ・ スタートアップの種類
- ・ 更新禁止項目
- ・ サーバポート番号

■スタートアップの種類

操作手順

< スタートアップの種類 >

無効にする

アプリケーション起動時

システムメニュー 起動時

- ・ 無効にする (出荷時設定)
DHCP
- ・ アプリケーション起動時
DHCP
< > 1: 2:
- ・ システムメニュー起動時
DHCP
< > 1: 1:

■更新禁止項目

DHCP

- ・ IPアドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ
- ・ 端末ID

注意

IP アドレスがチェックされている (IP アドレス更新禁止) 場合、端末で設定済みの IP アドレスは変更されません。ネットワーク上に同一の IP アドレスのホストがないことを確認してご使用ください。

■サーバポート番号

DHCP 08067
XIT-150-BR IP
DHCP 67

参照

「WebGlider-X」ネットワーク管理ツールの DHCP サーバのポート番号はデフォルトで 08067 となっております。これは同一ネットワークに業務運用中である他の DHCP サーバとの競合をさけるためです。

■実行

F1

P.3-37

DHCP

■ユーザ名

FTP

18

/

操作手順

< FTP >

1:ホスト名
 2:ユーザ名
 []
 3:パスワード
 []
 4:詳細設定

■パスワード

FTP

20

/

操作手順

< FTP >

1:ホスト名
 2:ユーザ名
 []
 3:パスワード
 []
 4:詳細設定

*

■詳細設定

操作手順

< 詳細設定 >

1:サーバポート番号
 [00021]
 2:モード
Passive Active
 3:フォルダ

●サーバポート番号

FTP

21

●モード

Passive

FTP

Passive

Active



ファイアウォールの設定では、ファイアウォール外側からファイアウォール内側への接続を拒否する機能があります。この機能が有効である場合 Active モードでは FTP 通信ができません。Passive モードを使用することでファイアウォールを超えた場所にある FTP サーバとの通信が可能になります。

●フォルダ

- ・ カレントフォルダ

/

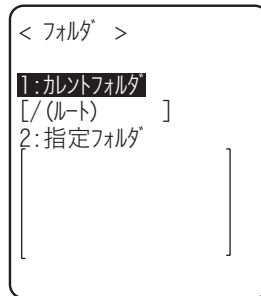
FTP

FTP

/

FTP

FTP



/

- ・ 指定フォルダ

/

FTP

FTP

CWD

"dir1/dir2/dir3"

3-10-4 DNS

DNS

DHCP

P.3-36

操作手順

4 DNS

< DNS >

1: プライマリ
[000.000.000.000]

2: セカンダリ
[000.000.000.000]

3: 詳細設定

● プライマリ

IP

● セカンダリ

IP

● 詳細設定

- ・ サーバポート番号

DNS

53

- ・ タイムアウト

1 99

- ・ 試行回数

0

- ・ キャッシュ時間

0 9999 0

8

3-10-5 SNMP

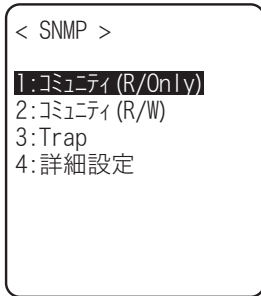
SNMP

DHCP

P.3-36

操作手順

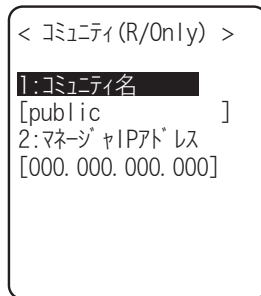
5 SNMP



- ・ コミュニティ (R/Only)
- ・ コミュニティ (R/W)
- ・ Trap
- ・ 詳細設定

■コミュニティ (R/Only) の設定

操作手順



IP

●コミュニティ名

"Read-Only"

GET GET-NEXT

SET

authentication trap

16

●マネージャIPアドレス

SNMP

IP

000.000.000.000 IP

SNMP

■コミュニティ (R/W) の設定

操作手順

```

< コミュニティ (R/W) >
1: コミュニティ名
[private ]
2: マネージャIPアドレス
[000.000.000.000]
    
```

IP

- コミュニティ名

"Read-Write"

GET GET-NEXT SET
16

- マネージャIPアドレス

SNMP

IP

000.000.000.000 IP

SNMP

■Trapの設定

操作手順

```

< Trap >
1: コミュニティ名
[Welcat ]
2: マネージャIPアドレス
[000.000.000.000]
    
```

IP

- コミュニティ名

Trap

16

- マネージャIPアドレス

Trap

SNMP

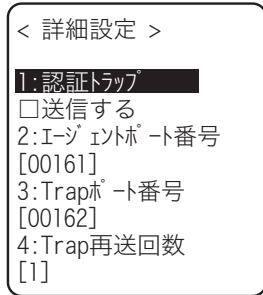
IP

000.000.000.000 IP

Trap

■詳細設定

操作手順



●認証Trap

1	R/Only	2	R/W	IP
			authentication trap	
Trap	2	IP	SNMP	

●エージェントポート番号

SNMP 161

●Trapポート番号

162

●Trap再送回数

Trap

■SNMPについて

XIT-150-BR WebGlider-X WBG-001
 SNMP-PDU Protocol Data Unit SNMPv1
 XIT-150-BR MIB

1.3.6.1.2.1.1	MIB2-System
1.3.6.1.2.1.2	MIB2-Interfaces
1.3.6.1.2.1.4	MIB2-IP
1.3.6.1.2.1.5	MIB2-ICMP
1.3.6.1.2.1.6	MIB2-TCP
1.3.6.1.2.1.7	MIB2-UDP
1.3.6.1.2.1.11	MIB2-SNMP
1.3.6.1.4.1.12392	Welcat Enterprise MIB

Welcat Enterprise MIB ASN.1
 Welcat Enterprise MIB WebGlider-X

● サポートするトラップ

Cold Start	MIB ON MIB MIB
Warm Start	Cold Start ¹
Link up	XIT-150-BR Link up ColdStart Warm Start XIT-150-BR SIGRFU_INSYNC
Link down	
Authentication	Trap- XIT-150-BR IP P. 3-43 IP Trap- Trap P.3-44

¹ XIT-150-BR MIB IP Cold Start Warm Start
MIB
MIB

3-11 

WLAN Bluetooth

F

●WLAN

XIT-150-BR

IP

SSID

FTP

XIT-150-BR FTP

●Bluetooth (送信側がホストコンピュータの場合)

BluePorter WLF-001:

XIT-150-BR

●Bluetooth (送信側がXIT-150-BRの場合)

XIT-150-BR

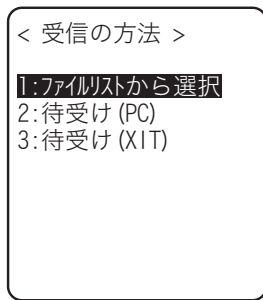
XIT-150-BR

操作手順

4

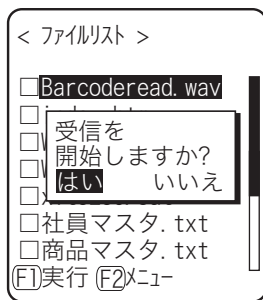


- ・ WLAN → ③
- ・ Bluetooth → ②



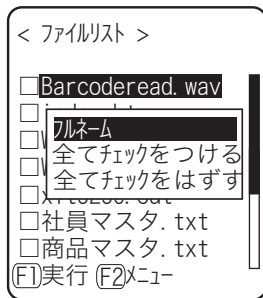
1:
 2: PC 3: XIT
 XIT 3: XIT 2: PC

- ・ 1 : ファイルリストから選択 →
- ・ 2 : 待ち受け (PC) 、 3 : 待受け (XIT) →



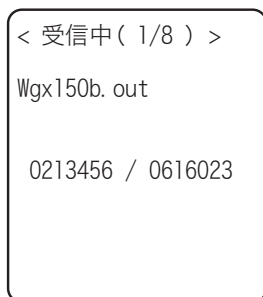
F2

Ⓒ



F2

- ・ 『フルネーム』
- ・ 『全てチェックをつける』
- ・ 『全てチェックを外す』



< 受信中 (2/8) >
既に同名のファイル (Wgx
150b. out) が存在し
ます。
上書きしますか?
はい いいえ

Ⓒ

< 受信中 (8/8) >
INDEX. HTM
完了しました
(8/8)
OK

ENT

/

Ⓒ

3-12

拡張子	ファイルの種類
OUT	
WAV MP3 SFL	
BMP	

操作	説明
3	
2	

S

2

	Windows Bitmap
	132×128

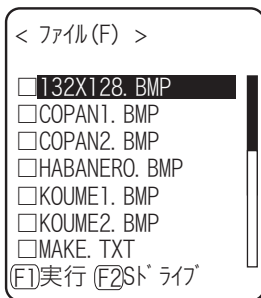
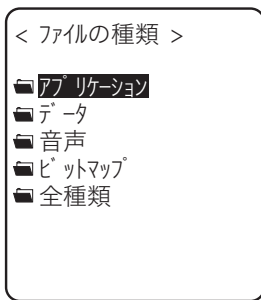
3

	WAV
	Windows WAVE
	8000/11025/16000/22050/44100/48000 Hz
	16bit
	PCM

	MP3
	MPEG-1 Audio Layer-3
	44100/48000 Hz
	32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320 kbps
	/
	SFL
	32
	SFL , 32
	SFL SFL
	ALARM_MELODY.WAV LOCATION_3F_2.WAV SHIP_ERROR.WAV

操作手順

5:

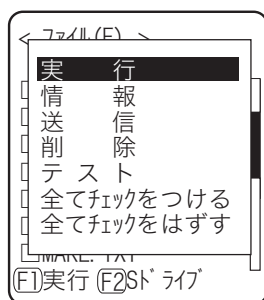


F

F

F2

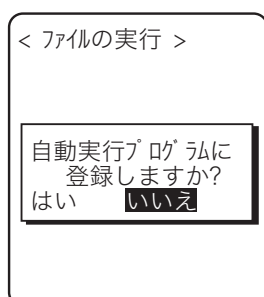
S

/ ENTF1

- ・ 実行
- ・ 再生
- ・ 閲覧
- ・ 情報
- ・ 送信
- ・ 削除
- ・ テスト
- ・ 全てチェックをつける
- ・ 全てチェックを外す

■ 実行

操作手順



チェックボックスの状態に関わらず、**選択中**のアプリケーションが実行されます。

①

OFF

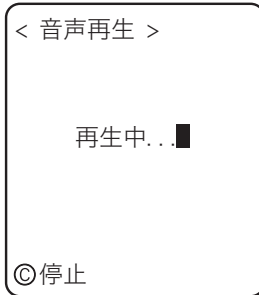
OFF

②

10

■再生

操作手順



チェックボックスの状態に関わらず、**選択中**の音声ファイルが再生されます。

©

■閲覧

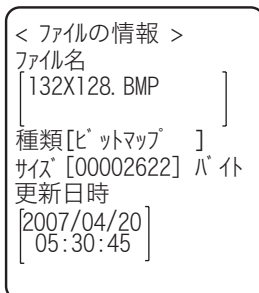
操作手順



チェックボックスの状態に関わらず、**選択中**のビットマップファイルの内容が表示されます。

■情報

操作手順



チェックボックスの状態に関わらず、**選択中**のファイルに関する情報が表示されます。



●WLAN

XIT-150-BR

IP

SSID WEP

FTP

XIT-150-BR FTP

●Bluetooth (受信側がホストコンピュータの場合)

BluePorter WLF-001

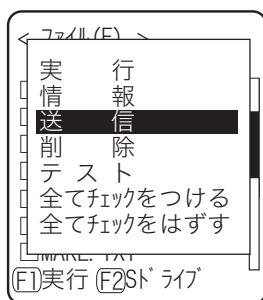
XIT-150-BR

●Bluetooth (受信側がXIT-150-BRの場合)

XIT-150-BR

XIT-150-BR

操作手順



< 送信中 (1/8) >
INDEX. HTM
0213456 / 0616023

< 送信中 (8/8) >
INDEX. HTM
完了しました
00 (8/8) OK

ENT

/

Ⓒ

■ 削除 

操作手順

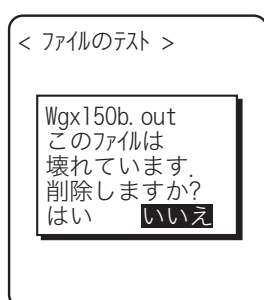
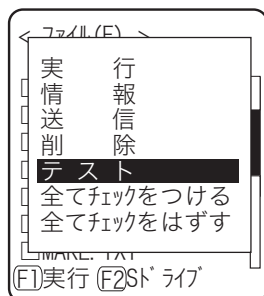
< ファイルの削除 >
ファイルを削除
しますか?
はい いいえ

Ⓒ



■テスト

操作手順



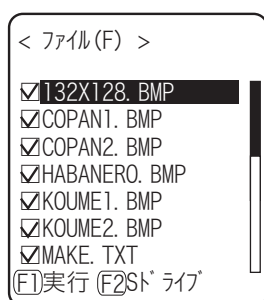
©

注意

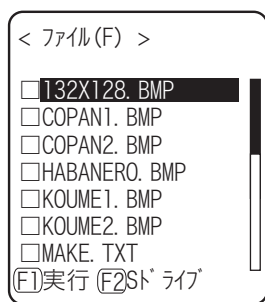
破損したファイルをそのまま使用すると、アプリケーションが暴走するなど予期せぬ事態が発生する可能性があります。破損したファイルは削除することを強くお奨めします。

■全てチェックをつける

操作手順



■全てチェックを外す



3-13 ID

ID

DHCP

操作手順

6 ID



< 端末ID >
端末ID [000]

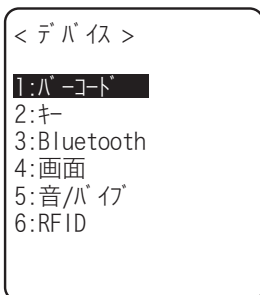
ID

ID 000 999

3-14

操作手順

7

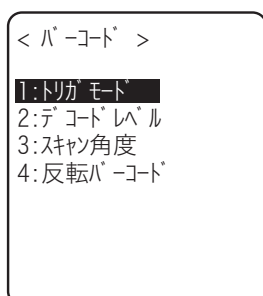


- ・ バーコード
- ・ キー
- ・ Bluetooth
- ・ 画面
- ・ 音/バ イブ
- ・ RFID

3-14-1 バーコード

操作手順

1:



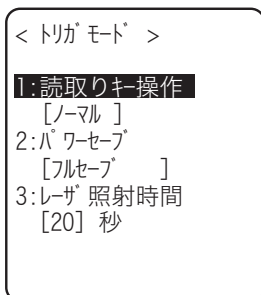
- ・ トリガモード
- ・ デコードレベル
- ・ スキャン角度
- ・ 反転バーコード

■トリガモード

XIT-150-BR

WebGlider-X

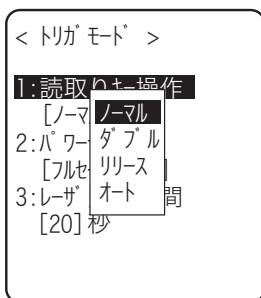
操作手順



- ・ 読取りキー操作
- ・ パワーセーブ
- ・ レーザ照射時間

●読取りキー操作

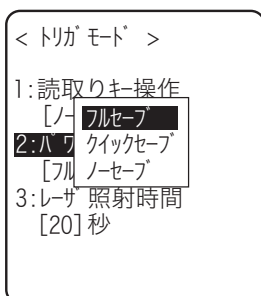
操作手順



- ・ ノーマル
- ・ ダブル
- ・ リリース
- ・ オート

●パワーセーブ

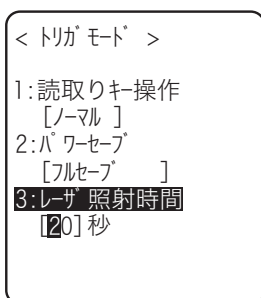
操作手順



- ・フルセーブ
- ・クイックセーブ
- ・ノーセーブ

●レーザ照射時間

操作手順



00

00 60

■デコードレベル

操作手順

< デコードレベル >

厳しい
 通常
 緩い

[F1] が ダ ス

3

レベル値	読取り（誤読）率

[F1]

< デコードレベル >

(推奨する基準レベルを
 (下回る為、誤読率が
 (高くなります。
 宜しいですか？
 はい いいえ

[F1] が ダ ス

[C]

■スキャン角度

操作手順

<p>< スキャン角度 ></p> <p><input checked="" type="radio"/> 広い</p> <p><input type="radio"/> 狭い</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 広い (デフォルト)・ 狭い
--	---

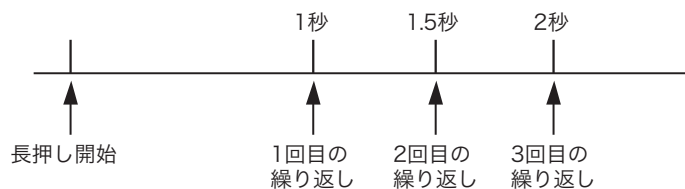
■反転バーコード

操作手順

<p>< 反転バーコード ></p> <p><input checked="" type="radio"/> 禁止</p> <p><input type="radio"/> 許可</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 禁止 (デフォルト)・ 許可
---	---

3-14-2 キー

F5 F8



操作手順

2:



< キー >

1:レポート開始時間
[0500] ミリ秒

2:レポート間隔
[0100] ミリ秒

F1 が イ タ ス

0000

0100 1000

F1

3-14-3 Bluetooth



操作手順

3:Bluetooth

< Bluetooth >

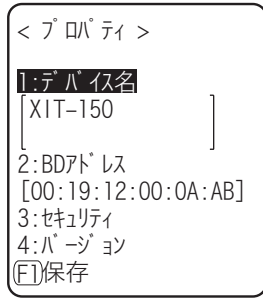
1:ローカルデバイス

2:リモートデバイス

- ・ローカルデバイス
- ・リモートデバイス

■ローカルデバイス

操作手順

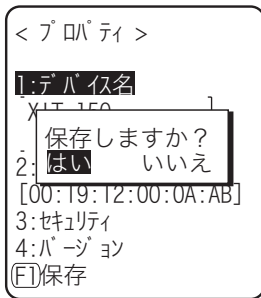


- ・ デバイス名
- ・ セキュリティ
- ・ バージョン

BD

注意

ローカルデバイスの設定中のみ、リモートデバイスからの検索を受付けます。それ以外では検索を受付けません。



(F1)

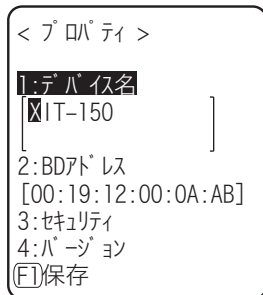
(C)

(C)

●デバイス名

操作手順

Bluetooth



30

/

●セキュリティ

操作手順

< セキュリティ >

認証を有効にする

PINコード

[]

PIN

< セキュリティ >

認証を有効にする

PINコード

[]

PIN Personal Identification Number

16

PIN

*

●バージョン

操作手順

Bluetooth

< バージョン >

hci : 1.2

hr : 0x0512

lmp : 1.2

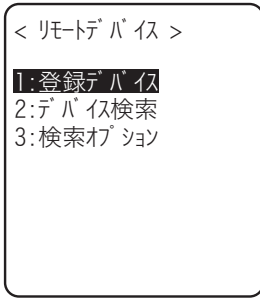
man : csr

ls : 0x0512

©

■ リモートデバイス

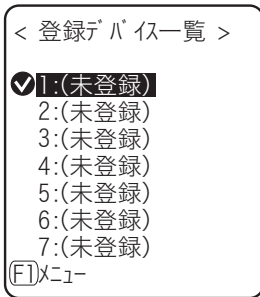
操作手順



- ・ 登録デバイス
- ・ デバイス検索
- ・ 検索オプション

● 登録デバイス

操作手順

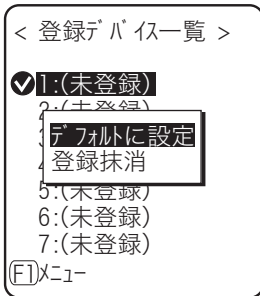


00:00:00:00:00:00

BD



Bluetooth



[F1]

- ・ 『デフォルトに設定』
- ・ 『登録抹消』

< プロパティ >

1: デバイス名

2: BDアドレス
[00:19:12:00:0A:AB]

3: セキュリティ

(F1)保存 (F2)検索

- ・ デバイス名
- ・ BDアドレス
- ・ セキュリティ

(F2)

●BDアドレス

操作手順

BD



< プロパティ >

1: デバイス名

2: BDアドレス
[00:19:12:00:0A:AB]

3: セキュリティ

(F1)保存 (F2)検索

BD

16

0 9 A F 12

●デバイス検索

注意

デバイス検索の対象に端末を含めたい場合は、対象となる端末を「ローカルデバイスの設定中」にしておく必要があります。

操作手順

< デバイス検索 >

検索中 ...■

(C)



注意 検出できるデバイス名は英数記号です。ホストコンピュータのデバイス名にかな漢字を使用しないでください。

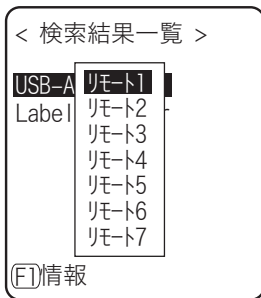


[F1]



BD

[C]

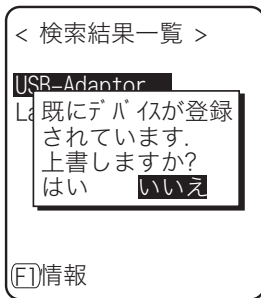


[F1]



BD

[C]



[C]

●検索オプション

操作手順

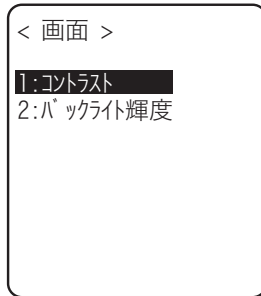
< 検索オプション >
検索台数 (1 - 9)

1 9

3-14-4 画面

操作手順

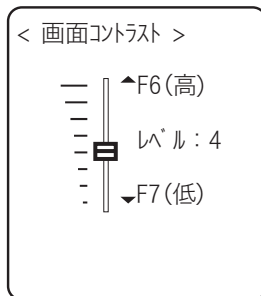
4:



- ・ コントラスト
- ・ バックライト輝度

■コントラスト

操作手順



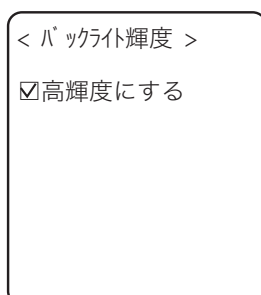
F6

F7

レベル値	コントラスト
8	↕
1	

■バックライト輝度

操作手順

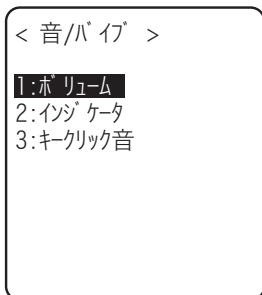


3-14-5 音/バイブ

LED

操作手順

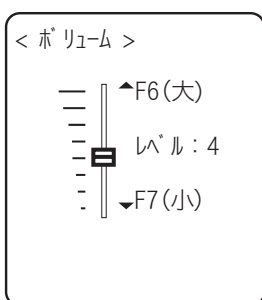
5: /



- ・ ボリューム
- ・ インジケータ
- ・ キークリック音

■ボリューム

操作手順



8 8
F6 F7

レベル値	音量
8	↕
5	
1	

1

■インジケータ

/ / /LED

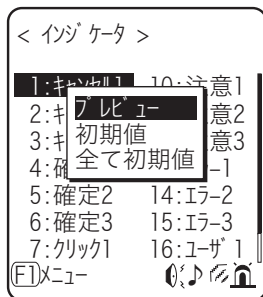
LED

LED

操作手順

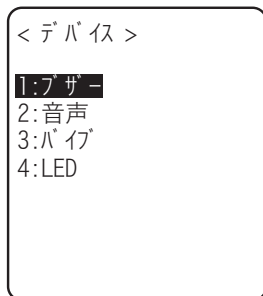


LED



[F1]

- ・『プレビュー』
- ・『初期値』
- ・『全て初期値』



●デバイスの動作条件

操作手順

< プザー >

有効にする

周波数[0580]Hz
 初時間[00040]ミリ秒
 再時間[00000]ミリ秒
 回数[00]

[F1]メニュー

ON/OFF

< プザー >

有効にする

周波数[0580]Hz
 初 [プレビュー] ミリ秒
 再 [初期値] ミリ秒
 回数[00]

[F1]メニュー

[F1]

- ・『プレビュー』
- ・『初期値』

[F1]

< プザー >

有効にする

周波数[0580]Hz
 初時間[00040]ミリ秒
 再時間[00000]ミリ秒
 回数[00]

[F1]サンプル

0000 9999Hz

< プザー >

有効にする

周波数 [低音] Hz
 初時間 [中音] 0]ミリ秒
 再時間 [高音] 0]ミリ秒
 回数[00]

[F1]サンプル

[F1]

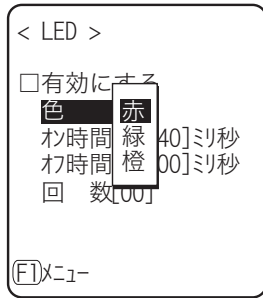


F1

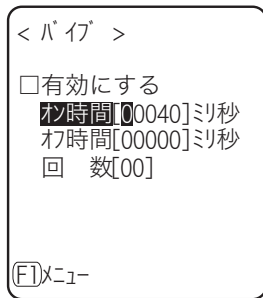
注意

拡張子が MP3 または SFL のファイルをインジケータに指定する場合、アプリケーションにリンクされたライブラリが Ver.1.10 以上でなければアプリケーションから再生されません。

LED



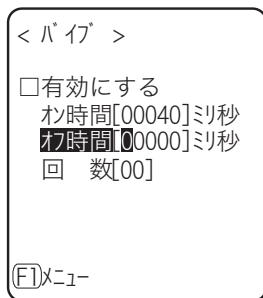
/ /LED



00000

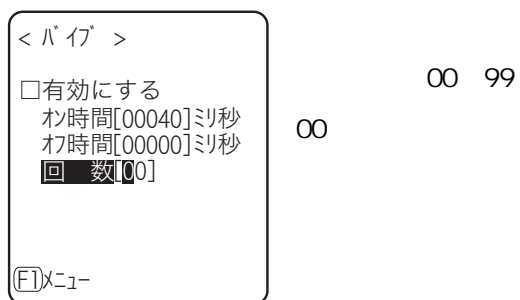
00000 99999

/ /LED



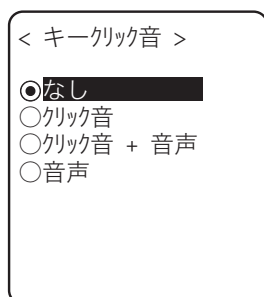
00000

00000 99999



■キークリック音

操作手順



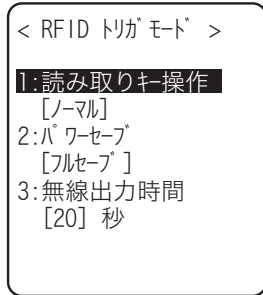
- ・ なし (デフォルト)
- ・ クリック音
- ・ クリック音 + 音声
- ・ 音声

3-14-6 RFID

IC RFID
IC
WebGlider-X

操作手順

6:RFID



- ・ 読み取りキー操作
- ・ パワーセーブ
- ・ 無線出力時間

●読み取りキー操作

- ・ ノーマル (デフォルト)
- ・ オート
- ・ セミオート

IC

IC

●パワーセーブ

- ・ フルセーブ (デフォルト)

IC

- ・ ノーセーブ

●無線出力時間

IC

0 60

IC

0

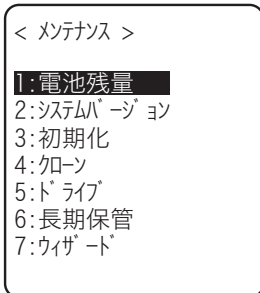
20

3-15

XIT-150-BR

操作手順

8



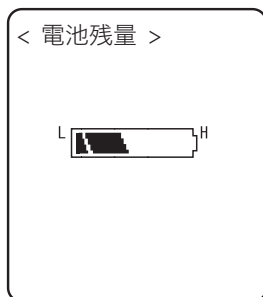
- ・ 電池残量
- ・ システムバージョン
- ・ 初期化
- ・ クローン
- ・ ドライブ
- ・ 長期保管
- ・ ウィザード

3-15-1 電池残量

電池残量はあくまで目安としてご覧ください。

操作手順

1:

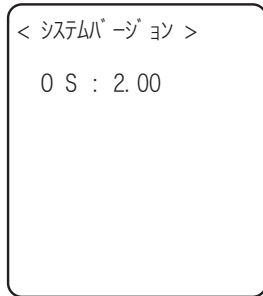


3-15-2 システムバージョン

OS

操作手順

2:

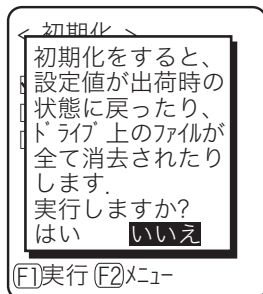
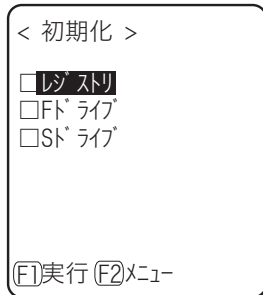


OS

3-15-3 初期化

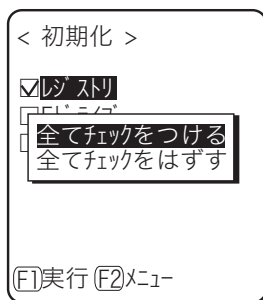
操作手順

3:



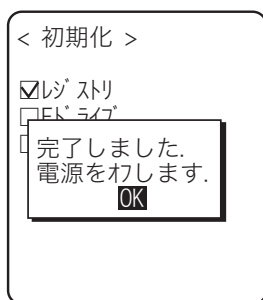
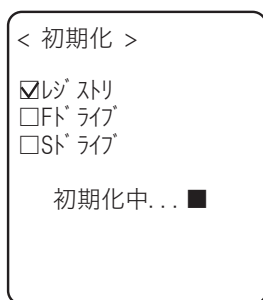
(F1)

©



F2

- ・『全てチェックをつける』
- ・『全てチェックをはずす』



ENT

C

OFF

注意

レジストリを初期化するときにFドライブにファイルが存在しない場合、チェックの有無を問わず自動的にFドライブも初期化します。

3-15-4 クローン

XIT-150-BR

F

操作手順

4:

```
< クローン >
1: マスター
2: コピー
```

XIT-150-BR 1:

XIT-150-BR 2:

- ・ マスター
- ・ コピー

注意

クローンを行うときは次のことを充分にご理解の上、細心の注意を払って行なってください。

- ・ コピー端末はマスター端末からの受信をする前にコピー端末内の初期化を行ないます。そのためクローンに失敗した場合は設定値が出荷時の状態に戻ったり、ファイルが全て消去されてしまいます。
- ・ コピー端末は最初に初期化を行なうため、クローン可能な状態になるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- ・ マスター端末からレジストリやファイルを転送する時は、コピー端末がクローン可能な状態であることを確認してから実行してください。

■ マスター

XIT-150-BR

操作手順

< クロツ(マスター) >

システム

セキュリティ

ユーザ

ユニーク

ドライブ

[F1]実行 [F2]メニュー

[F1]

< クロツ(マスター) >

システム

セキュリティ

全てチェックをつける

全てチェックをはずす

ドライブ

[F1]実行 [F2]メニュー

[F2]

- ・『全てチェックをつける』
- ・『全てチェックをはずす』

< クロツ(マスター) >

完了しました

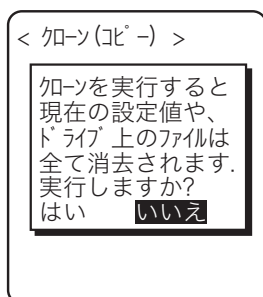
OK

[ENT]

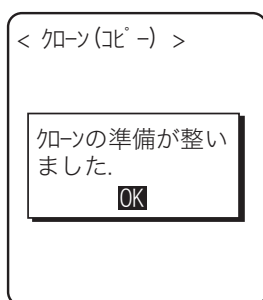
[C]

■コピー

操作手順

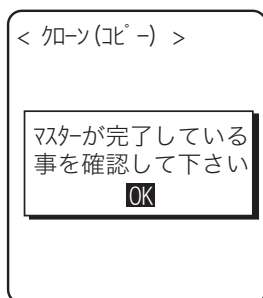


C



ENT

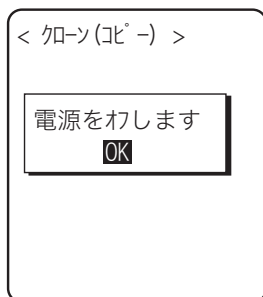
C



ENT


C

OFF



ENT

C

3-15-5 ドライブ 

操作手順

5:

< ドライブ >
 1:FDドライブ
 2:SDドライブ

< FDドライブ情報 >
 全容量
 [12058624] バイト
 使用領域
 [283648] バイト
 空き領域
 [11774976] バイト
 ファイル数
 [4/64]
 [F1] データフラグ

- ・全容量
- ・使用領域
- ・空き領域
- ・ファイル数（使用数/最大数）

< FDドライブ情報 >
 全容量
 [12058624] バイト
 使用領域
 [28 **ノーマル**] バイト
 空き領域 **データ**
 [11774976] バイト
 ファイル数
 [4/64]
 [F1] データフラグ

F

[F1]

- ・『ノーマル』
- ・『データ』

参照

Fドライブでファイルの書き込みや削除を繰り返すと、次第に空き領域が断片化され、サイズの大きいプログラムファイルが格納できなくなります。デフラグはドライブの空き領域を連続した領域になるよう再配置し、断片化を解消します。

なお、システムプログラムはファイルの更新時等に自動でデフラグを実行し、Fドライブの状態を適正に保つため、通常はデフラグの必要はありませんが、ファイル更新等を頻繁に行う運用の場合、断片化が進み空き領域が小さくなる場合があります。Fドライブ情報の全容量と使用領域に対し空き領域が極端に小さい場合は、「ディープ」デフラグを実行することで空き領域を確保することをお奨めします。

また、システムプログラムが自動でデフラグを実行する際は、ファイル更新等の処理時間が長くなる場合がありますが異常ではありません。

注意

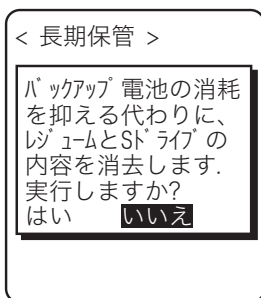
デフラグの途中でバッテリーカートリッジを外すとファイルやシステムプログラムが破壊される恐れがあります。デフラグの途中では絶対にバッテリーカートリッジを外さないでください。

3-15-6 長期保管

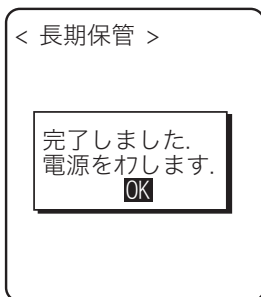
XIT-150-BR

操作手順

6:



Ⓒ



ENT

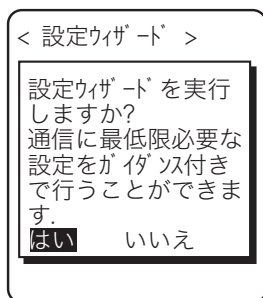
Ⓒ

OFF

3-15-7 ウィザード

操作手順

7:



3-6-4

WLAN TCP/IP

P.3-10

3-16



操作手順

9



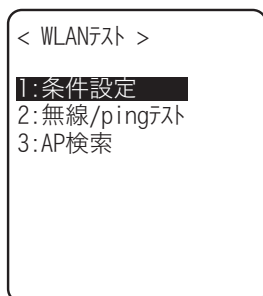
- ・ WLAN
- ・ Bluetooth
- ・ バーコード
- ・ 画面
- ・ キー
- ・ RFID

3-16-1 WLAN

IP

操作手順

1:WLAN



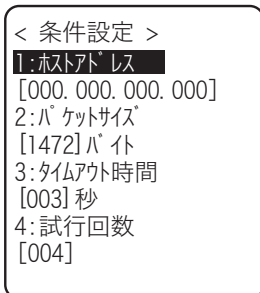
■条件設定

ping

ping

操作手順

1:



●ホストアドレス

IP

●パケットサイズ (デフォルト 1472バイト)

32 64 128 256 512 1024 1472

●タイムアウト時間 (デフォルト 3秒)

1
1 255

●試行回数 (デフォルト 4回)

ping

1 255

0

Ⓒ

ping

■AP検索

SSID
 SSID ANY

注意

アクセスポイント側の設定で、「ANY」に対して応答する設定になっている場合に限り、セキュリティの観点から、「ANY」に対する応答は無効になっていることがあります。

MAC

SSID

操作手順

3AP

< アクセスポイント検索 >

検索中 ...

< 検索結果一覧 >

00A0F850D7D3	01
00A0F850D7F4	06
00A0F850D7CE	11

[F1]情報

<1 >

<3 >

<10 > SSID

MAC

[F1]

SSID

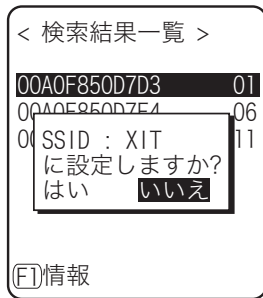
< 検索結果一覧 >

00A0F850D7D3	01
00A0F850D7E4	06
00A0F850D7CE	11

SSID : XIT

OK

[F1]情報



3-16-2 Bluetooth

Bluetooth 1 1

操作手順

2:Bluetooth



Bluetooth

注意

Bluetooth 通信の実行前に主局になる機器は、従局になる機器(または端末)をデフォルトデバイスに設定しておく必要があります。端末の設定方法については「**リモートデバイス**」(P.3-66)をご覧ください。



3-16-3 バーコード

操作手順

3:

< バールコードテスト >
 4901744551846

バールコード : JAN13
 桁数 : 13

[F1]HEX [F2]オプション

< バールコードテスト >
 4901744551846

バールコード : JAN13
 桁数 : 13
 成功率 : 100%

[F1]HEX [F2]オプション

< バールコードテスト >
 34393031373535313241
 383333

[F1]ASCII [F2]オプション

[F1]

- ・『ASCII』（デフォルト）

ASCII

- ・『HEX』

m 6D

16

5

35

16

2

[F1]

■バーコードオプション

< バ-コード オプション > F2

1: **チェックディジット**

2: JAN/EAN/UPC

3: RSS

●チェックディジット

- ・ [チェックをします] をOFFにする (デフォルト)
- ・ [チェックをします] をONにする

●JAN/EAN/UPC

JAN/EAN/UPC

- ・ 禁止 (デフォルト)
- ・ 許可
- ・ アドオンのみ許可

JAN/EAN/UPC

●RSS

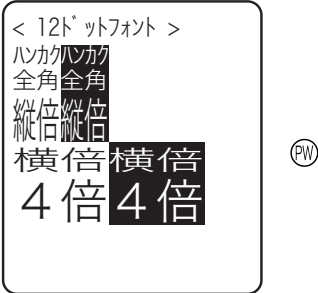
RSS Stacked

- ・ 禁止 (デフォルト)
 - ・ 許可
- RSS Stacked
- RSS Stacked

3-16-4 画面

操作手順

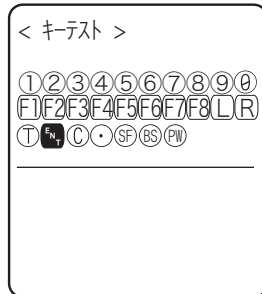
4:



3-16-5 キー

/ /LED/

操作手順



ENT

キー	ブザー	パイプ レータ	LED	音声再生
⓪ ⓑ Ⓒ		×	SCAN	×
ENT Ⓒ ⓑ Ⓞ Ⓟ Ⓠ		×	ALRAM	×
Ⓣ 9 10	×		SCAN	×
F1	×	×	SCAN	
F2	×	×	SCAN	
F3	×	×	SCAN	
F4	×	×	SCAN	
F5	×	×	SCAN	
F6	×	×	SCAN	
F7	×	×	SCAN	
F8	×	×	SCAN	

Ⓒ

Ⓠ

F4

3-16-6 RFID

IC

操作手順

6:RFID

< RFID テスト >

1:タグ種別

2:タグデータ

- ・タグ種別
- ・タグデータ

■タグ種別

操作手順

1:

< タグ 種別 >

I-CODE SLI :未検出

Tag-it HF-I :未検出

my-d :未検出

FerVIDFamily:未検出

その他 :未検出

IC

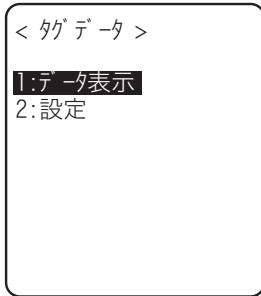
IC

■タグデータ

IC

操作手順

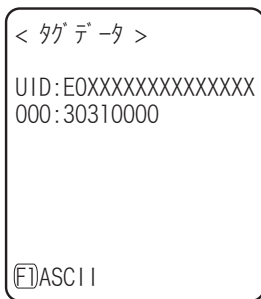
2:



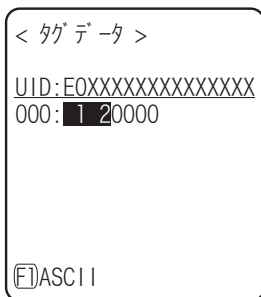
- ・ データ表示
- ・ 設定

●データ表示

IC



UID	IC	X	IC
	000:00000000	000:	00000000
IC			



F1

●設定

IC

< Block設定 >
1:ブロックアドレス
[000]
2:ブロック数
[001]

・ブロックアドレス

IC

255

000

IC

0

IC

1 256

001

第4章

外付けアンテナユニット (AU-002 編)

AU-002

AU-002

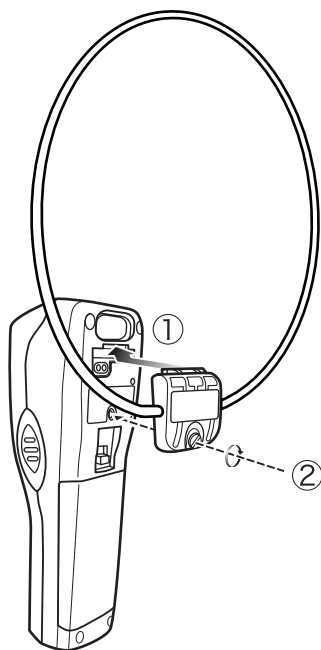
AU-002

4-1 AU-002

AU-002

XIT-150-BR

XIT-150-BR

**注意**

必ず、ネジを止めて使用してください。

4-1-1 取扱い上の注意

※特にアンテナコイル部の取扱いについて

注意

上記のような取扱いは断線、破壊、性能低下等の故障の原因となります。このような原因で故障した場合、保証期間内でも有償となる場合がございます。

4-1-2 使用上の注意

AU-002

XIT-150-BR

XIT-150-BR

AU-002

()

70cm

A large rectangular area with a dark green, marbled or textured background. The texture consists of irregular, vein-like patterns in a slightly lighter shade of green.

第5章

FAQ (よくある質問と回答)

5-1 FAQ

Q：電源が入らない

- バッテリーカートリッジは正しく装着されていますか？---- (P.1-4)
- バッテリーカートリッジは充電されていますか？---- (P.1-21)
- バッテリーカートリッジの電極は汚れていませんか？---- (P.1-22)

Q：画面に何も表示されない

- バッテリーカートリッジは正しく装着されていますか？---- (P.1-4)
- バッテリーカートリッジは充電されていますか？---- (P.1-21)
- バッテリーカートリッジの電極は汚れていませんか？---- (P.1-22)

<上記の項目を確認しても解決できない場合>

- 1.
- 2.10
- 3.



Q：しばらく操作を中断したら、電源が OFF になってしまった

- バッテリーカートリッジは充電されていますか？---- (P.1-21)
- オートパワーオフ機能が起動していませんか？---- (P.3-21)

Q：充電できない

- 端末は充電器に正しくセットされていますか？
- バッテリーカートリッジは充電器に正しくセットされていますか？

1-7

P.1-18

Q：システムメニューが起動しない

■ 自動実行に"アプリケーション"が設定されていませんか？---- (P.3-15)

1 1

■ 強制的にシステムメニューを起動する場合は、読取りキーを押しながら端末を起動してください。---- (P.3-9)

Q：電源を ON にしたときに起動するアプリケーションを変更したい

1 1 ---- P.3-15

Q：別のアプリケーションを起動するには

5 2
---- P.3-51

Q：バーコードが上手く読取れない

■ アプリケーションの設定に沿ったバーコードを読取っていますか？

■ 正反射が起こってませんか？---- (P.1-15)

■ 読取り距離は正しいですか？---- (P.1-14)

■ 読取り口のフィルタは汚れていませんか？

■ ラベルの品質は良いですか？

Q：ドライブの空き容量を確認するには

8 5 ---- P.3-83

Q：WLAN と Bluetooth の同一環境、同一端末での同時使用は可能か？

Q：ファイルの送受信中に「書き込みに失敗しました」と表示された

■ Fドライブの空き領域が少ない場合などに表示されます。

F

S

F

--- P.3-83

Q：ファイルの送受信中に「タイムアウトです」と表示された

送信または受信待ち状態のままで一定時間が経過すると表示されます。

- ホストコンピュータの通信ソフトは起動していますか？--- (P.1-5)
- 通信設定は正しく設定されていますか？--- (P.1-5)
- XIT-150-BRとホストコンピュータは正しく接続されていますか？--- (P.1-8)
- ホストコンピュータのリソースが不足していませんか？

Q：ファイルの送受信中に「接続に失敗しました」と表示された

- 無線およびネットワークの通信設定は正しく行なわれていますか？--- (P.1-8)
- コンピュータ上でFTPサーバは起動していますか？
- アクセスポイント（弊社推奨品）とコンピュータはLAN回線上で正しく接続されていますか？--- (P.1-8)
- FTPの設定は正しく行なわれていますか？--- (P.3-38)
- コンピュータ上でBluePorterは起動していますか？
- 目的のリモートデバイスとは別のリモートデバイスに接続していませんか？
- リモートデバイスとセキュリティは設定は同一ですか？
- 端末ID、リモートデバイスの設定は正しく行なわれていますか？

Q：端末の IP アドレス等の設定をコンピュータから一括設定したい

WebGlider-X DHCP

Q：アプリケーションの起動やファイルの送受信ができない

--- P.3-77

Q：ファイルが壊れているようなのですが

--- P.3-52 3-55

Q：「システムエラー」と表示され、キーを押したら電源が OFF になった

ON



Q：タグが読み取れない

- 規格に則ったタグを使用していますか。
- タグの下または周辺が金属物ではありませんか。
- タグに金属皮膜処理のシール等が貼られていませんか。
- 複数のタグが接触して重なっていませんか。
- 読取り周辺部に通信を妨害するような電子機器はありませんか。

Q：外付けアンテナユニットで読み取れない

- 本体の外付けアンテナ接続端子に保護シールが貼付されていませんか。
- 本体の外付けアンテナ接続端子ならびに外付けアンテナユニットの接続端子に汚れが付着していませんか。
- 外付けアンテナユニットのアンテナコイルを手で触ったり、金属物を取り付けていたりしませんか。
- 外付けアンテナユニットのアンテナコイルから70cm以内に金属物はありませんか。



付録 A

システムメニュー出荷時設定一覧

A - 1

設定項目	設定可能範囲	出荷時設定値
		1
	4 30 /	
	0000 0060 3600	0600
SSID	32 /	XIT
	Slow Normal Fast	Normal
	1	1
	WEP 40Bit WEP 128Bit TKIP CCMP AES	
WEP TxKeyID	KEY-1 KEY-2 KEY-3 KEY-4	KEY-1
WEP Key	KEY-1 KEY-4 16 0 9 A F a f WEP 40bit 10 WEP 128bit 26	
PSK TKIP/CCMP	ASCII 8 63 16 0 9 A F a f 64	
	Open Shared EAP	Open
EAP	EAP-TLS EAP-PEAP-MSCHAPv2	EAP-TLS
CA		
	31 /	
WLAN	62 /	
WLAN	31 /	
	15 120	60
	11b Auto 11bg Auto 11g Auto 11g 6 or 9M 1Mbps 2Mbps 1Mbps or 2Mbps 5.5Mbps 11Mbps	11b Auto
RTS_Threshold	0000 2347	2347
IP	IP	000.000.000.000
	IP	000.000.000.000
	IP	000.000.000.000

設定項目	設定可能範囲	出荷時設定値
MTU	0064 1500	1500
DHCP		
DHCP	IP ID	
DHCP	00001 65534	08067
FTP	IP	IP
FTP IP	IP	000.000.000.000
FTP	62 /	
FTP	18 /	
FTP	20 /	
FTP	00001 65534	00021
FTP	Passive Active	Passive
FTP	/ / /	/
FTP	62 /	
DNS	IP	000.000.000.000
DNS	IP	000.000.000.000
DNS	00001 65534	00053
DNS	01 99	03
DNS	0 9	1
	0000 9999	0003
SNMP R/Only	16 /	public
SNMP IP R/Only	IP	000.000.000.000
SNMP R/W	16 /	private
SNMP IP R/W	IP	000.000.000.000
SNMPTrap	16 /	Welcat
SNMPTrap IP	IP	000.000.000.000
SNMP		
SNMP	00001 65534	00161
SNMPTrap	00001 65534	00162
ID	000 999	000

設定項目	設定可能範囲		出荷時設定値
	00	60	20
	0000	0100 1000	0500
	0000	0100 1000	0100
Bluetooth	30	/	XIT-100
Bluetooth			
Bluetooth PIN	16	16 0 9 A F	
Bluetooth 7	1 30	/	
Bluetooth 7BD	1 12	16 0 9 A F	00:00:00:00:00:00
Bluetooth 7	1		
Bluetooth 7PIN	1 16	16 0 9 A F	
Bluetooth	1 9		9
		1 8	4
		1 8	8
RFID			
RFID			
RFID	0	60	20



付録 B

サンプルバーコード

B-1

■JAN13



■JAN8



■UPC-E



■CODE39 (C/Dあり)



■CODE39 (C/Dなし)



■NW-7 (C/Dあり)



■NW-7 (C/Dなし)



■NW-7 (HEX)



■ITF (C/Dあり)



■ITF (C/Dなし)



■ITF (標準バージョン ITF-14)



■ITF (拡張バージョン ITF-16)



■ITF (アドオンバージョン ITF-6)



■CODE128 (コードセットA)



■CODE128 (コードセットB)



■CODE128 (コードセットC)



■EAN128 (コードセットA)

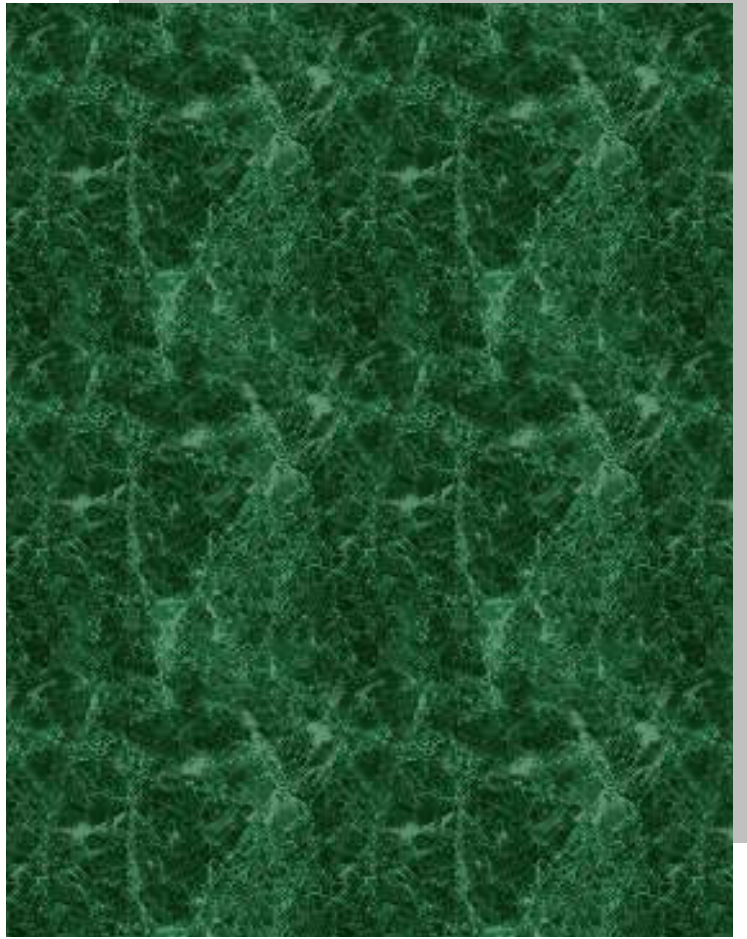


■EAN128 (コードセットB)



■EAN128 (コードセットC)





索引





A

AES.....	3-27
ALARM LED.....	1-2
ALARM LED.....	1-13
AP.....	3-89
AU-002.....	xix, 4-1

B

BluePorter.....	xix, 1-5
Bluetooth 1 7BD.....	A-4
Bluetooth 1 7PIN.....	A-4
Bluetooth 1 7.....	A-4
Bluetooth 1 7.....	A-4
Bluetooth.....	A-4
Bluetooth PIN.....	A-4
Bluetooth.....	A-4
Bluetooth.....	A-4

C

CA.....	3-29
CA.....	A-2
CCMP.....	3-27
CODE128 A.....	B-5
CODE128 B.....	B-5
CODE128 C.....	B-5
CODE39 C/D.....	B-2
CODE39 C/D.....	B-3

D

DHCP.....	3-36
DHCP.....	3-36
DHCP.....	3-37
DHCP.....	A-3

DHCP.....	A-3
DHCP.....	3-37
DHCP.....	3-9
DHCP.....	A-3
DNS.....	3-41
DNS.....	A-3
DNS.....	A-3
DNS.....	A-3
DNS.....	A-3
DNS.....	A-3

E

EAN128 A.....	B-6
EAN128 B.....	B-6
EAN128 C.....	B-6
EAP.....	3-28
EAP-PEAP-MSCHAPv2.....	3-29
EAP-TLS.....	3-29
EAP.....	3-29
EAP.....	A-2

F

F10.....	1-2
F9.....	1-2
FTP.....	3-38
FTP.....	A-3
FTP IP.....	A-3
FTP.....	A-3
FTP.....	A-3
FTP.....	A-3
FTP.....	A-3
FTP.....	A-3
F.....	xix, 1-23, 2-2

H

Handy5250.....	1-5, 2-2
HBC-51.....	xix, 1-21

I

IC	xix
IC	1-17
IEEE802.11i	3-27
IP	3-36
IP	A-2
ITF C/D	B-4
ITF C/D	B-4
ITF ITF-6	B-5
ITF ITF-16	B-4
ITF ITF-14	B-4

J

JAN13	B-2
JAN8	B-2

K

KEY	3-25
-----------	------

L

LCD.....	ix, 1-2
----------	---------

M

MAC	3-34
MTU.....	3-36
MTU	A-3

N

NW-7 C/D	B-3
NW-7 C/D	B-3
NW-7 HEX	B-3

O

Open	3-28
OS	3-78

P

Passive	3-40
PSK.....	3-27
PSK(TKIP/CCMP).....	3-26

Q

QC-001.....	1-18
QC-002.....	1-18, 1-19

R

RFID.....	3-76, 3-95
RFID	A-4
RFID	A-4
RFID	A-4
RTS Threshold.....	3-33
RTS_Threshold	A-2

S

SCAN LED.....	1-2, 1-18
SCAN LED	1-13
Shared Key	3-28
SNMP.....	3-42, 3-44
SNMPTrap	A-3
SNMPTrap	A-3
SNMPTrap IP	A-3
SNMP	A-3
SNMP R/Only	A-3
SNMP R/Only IP	A-3
SNMP R/W	A-3
SNMP R/W IP	A-3
SNMP	A-3
SSID.....	3-22
SSID	A-2
S	xix, 1-23, 2-2

T

TCP/IP.....	3-35
TKIP.....	3-27
Trap	3-43
TxKey_ID.....	3-25

U

UPC-E	B-2
-------------	-----

W

WebGlider-X	xix, 1-5, 2-2
WebGlider-X	xix

Welcat Enterprise MB.....	3-44
WEP.....	3-25
WEP Key	A-2
WEP TxKeyID	A-2
WEP	3-25
WLAN.....	xix, 1-7, 3-22
WLAN	3-27
WLAN	A-2
WLAN	A-2
WPA	3-27
WPA 2.....	3-27
WPA 2-PSK.....	3-27
WPA -PSK	3-27

X

XIT-150-B	2-2
-----------------	-----

あ

.....	xix, 1-7
.....	3-89
.....	1-7
.....	2-2
.....	3-24, 3-27
.....	A-2
.....	4-3

い

.....	3-71
.....	1-7

う

.....	3-10, 3-85
DHCP	3-37
FTP	3-40

え

.....	1-2
-------	-----

お

.....	3-20
.....	3-21
.....	3-20
.....	3-20
.....	A-2
.....	3-21, 5-2
.....	A-2
.....	3-58, 3-71
.....	3-71

か

.....	2-3, 3-49
.....	3-70, 5-2
.....	A-4
.....	1-27
.....	1-28

き

.....	3-3
.....	3-75
.....	3-4
.....	A-4
.....	A-4
.....	3-70
.....	A-3
.....	1-2
.....	3-25

く

.....	3-29
.....	A-2
.....	3-80

け

.....	3-16
-------	------

こ

.....	3-37
R/Only	3-42
R/W	3-43
.....	3-70

さ

.....	3-38
).....	3-16
DHCP	3-37
FTP	3-40
.....	3-36
.....	A-2
.....	3-49
.....	3-49

し

.....	3-78
.....	xix, 2-2
.....	xix, 2-2, 2-4, 3-2, 5-3

.....	3-9
.....	3-5
.....	3-13
.....	A-2
.....	3-2
.....	3-27
.....	3-15
.....	A-2
.....	1-3
.....	1-18, 5-2
.....	1-20
.....	1-18
.....	1-18
.....	1-3
.....	3-46
.....	3-47
WLAN	3-32
FTP	3-39
SNMP	3-44
WLAN	3-32
.....	3-23
.....	A-2
.....	3-29
.....	3-78
.....	1-3
.....	1-18

す

.....	3-62
.....	1-15
.....	3-37
.....	1-3

せ

.....	1-15
.....	1-10
.....	1-3
WLAN	3-24
.....	3-24
.....	3-27
.....	3-2
.....	3-10, 3-85

そ

.....	3-33
.....	A-2
.....	xix
.....	1-3
.....	1-3
.....	4-1
.....	2-2

た

.....	xix
ID	3-57
ID	A-3

ち

.....	3-32
.....	A-2
.....	3-84
.....	1-25
.....	1-25
.....	1-16

て

Bluetooth	1-8
WLAN	1-7
Bluetooth	1-9
WLAN	1-8
.....	1-23, 2-2
.....	3-61
Bluetooth	3-90
RFID	3-95
WLAN	3-86
.....	3-94
.....	3-93
.....	3-94
.....	3-91
.....	3-2
.....	3-36
.....	A-2
.....	xix
.....	1-3
.....	1-22
.....	3-8
.....	3-8, 3-77
.....	x
.....	2-3

と

.....	3-16
.....	3-16
.....	3-16
.....	3-16
.....	3-83
.....	3-45
.....	3-59

に

.....A-2
.....3-28

ね

.....3-35

は

.....3-58
.....A-4
.....A-4
.....A-4
.....A-4
.....3-58
.....3-86
.....3-71
.....3-18
.....3-19
.....3-19
FTP3-39
.....A-2
.....3-55
.....xix, 1-22
.....1-24
.....1-3
.....3-70
.....A-4

.....vii, xix, 1-3, 1-4, 1-18, 1-21, 1-23, 5-2
.....1-22
.....1-19
.....1-22
.....1-22
.....1-21
.....1-3
.....1-3
.....1-3
.....1-3
.....3-62
.....1-3

ひ

.....1-15
.....3-31
.....A-2
.....A-2

ふ

.....3-46

.....2-3
.....1-2
.....3-40

ほ

.....3-63
.....1-3
.....3-38
.....3-71
.....A-4

ま

.....3-16
.....1-19

む

/ping3-88
LAN.....3-22
.....1-6

め

.....1-24
.....1-23

ゆ

.....3-39
.....3-2
.....3-2

よ

.....1-15
.....xix, 1-2
.....1-2
.....1-14
.....1-14

り

.....xix, 3-66

れ

.....1-3
.....1-14
.....3-2
.....3-17
.....3-17

.....3-18
.....3-17
.....A-2
.....1-26

3

.....xix, 3-64
.....3-23
.....A-2

FAX

この度は弊社製品をご購入頂き、ありがとうございます。
お買上頂きました製品をご利用するにあたり、ユーザ登録をお願い致します。
ユーザ登録は弊社が製品の保証をするために必要なものですので、ぜひ登録をお願い致します。
またご登録いただく事で、商品・サービスに関連した情報等をご提供させていただきます。

下記フォームに必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください。

03-5463-8586

御社名			
部署		御担当者	
住所			
TEL		FAX	
Mailアドレス			
ご購入先			
ご購入区分	新規購入 ・ 追加購入		
ご利用用途	生産管理・在庫管理・出荷管理・トレーサビリティ・品質管理 その他（ ）		
シリアル番号	シリアル番号のアルファベットで製品名がわかりますので、シリアル番号のみをご記入ください。		

ワイヤレスICタグハンディリーダーライタ
XIT-150-BR
ユーザーズマニュアル

2008年5月 第3版発行
Copyright©2008 Welcat Inc.

株式会社ウェルキャット

<http://www.welcat.co.jp/>
info@welcat.co.jp